

Yamagata University Integrated Report 2022 Factbook

■大学基本情報

● 沿革	01
● 組織図	03
● 役員・各委員・学内研究組織の長など	05
● 教職員数（職別）	09
● 在学者数	10
● 都道府県別志願者・入学者数	12
● 学位授与者数・卒業者数累計	13
● 卒業者・修了者の就職状況	14
● 学生の休学率・退学・除籍率／● キャンパス面積	16
● サークル一覧	17
● 大学間・学部間交流協定締結数	19
● 外国人教員数／● 留学生数／● 学生海外派遣状況	21
● 海外拠点一覧／● 国際的な学術誌への掲載論文数／	
● 地域企業等（東北全体）との共同研究数／● 予算額／● 附属病院収益	22
● 研究費・外部資金等受入実績／● 大型の教育研究等の補助事業の実施状況	23
● 図書館の蔵書数・利用状況／● 附属病院の診療科一覧・患者数	24
● キャンパス毎の敷地内地図	25

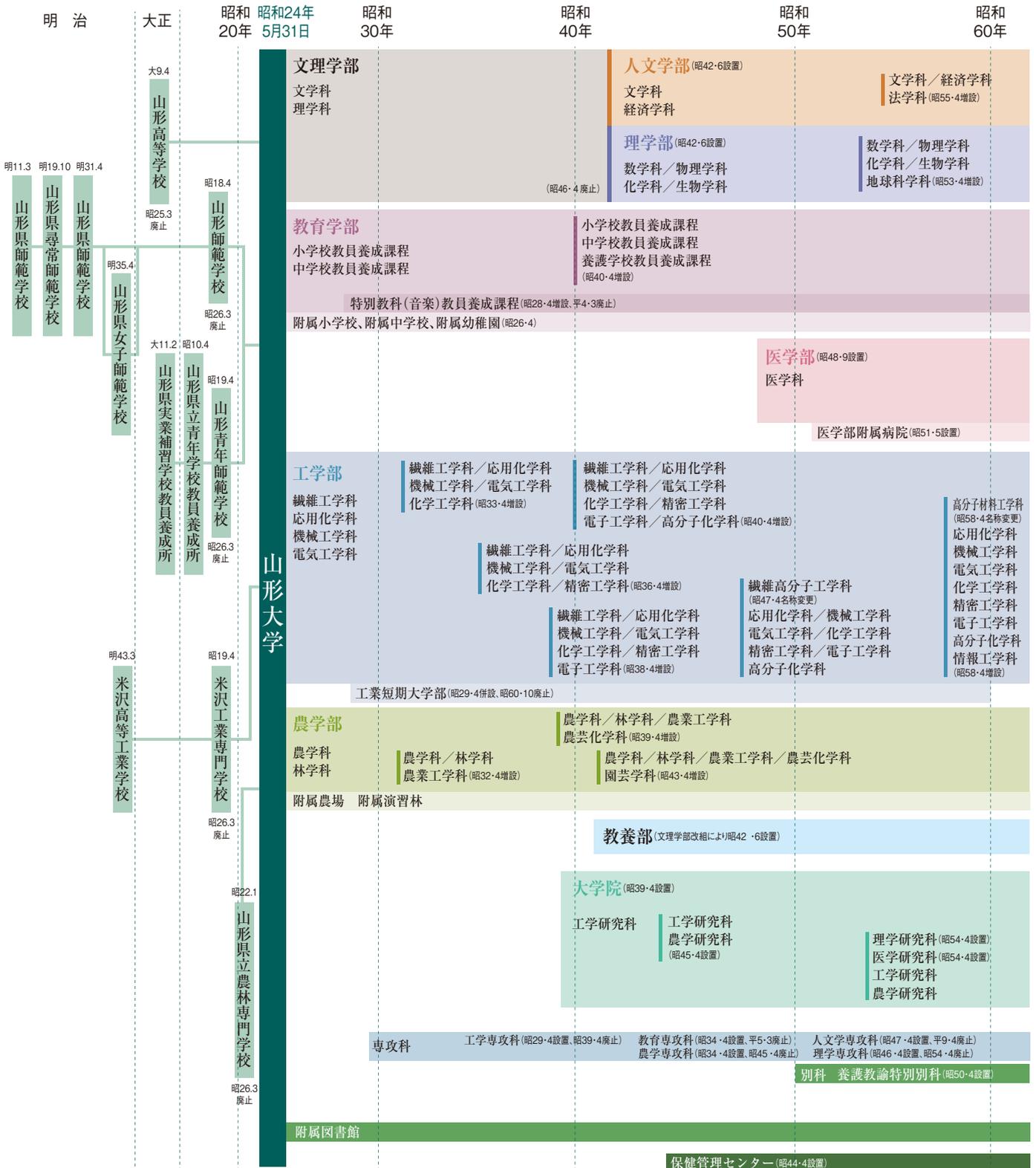
■財務データ

● ファイナンシャルハイライト（2021事業年度）	27
● 財務指標（2021事業年度）	28
● 学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）	31

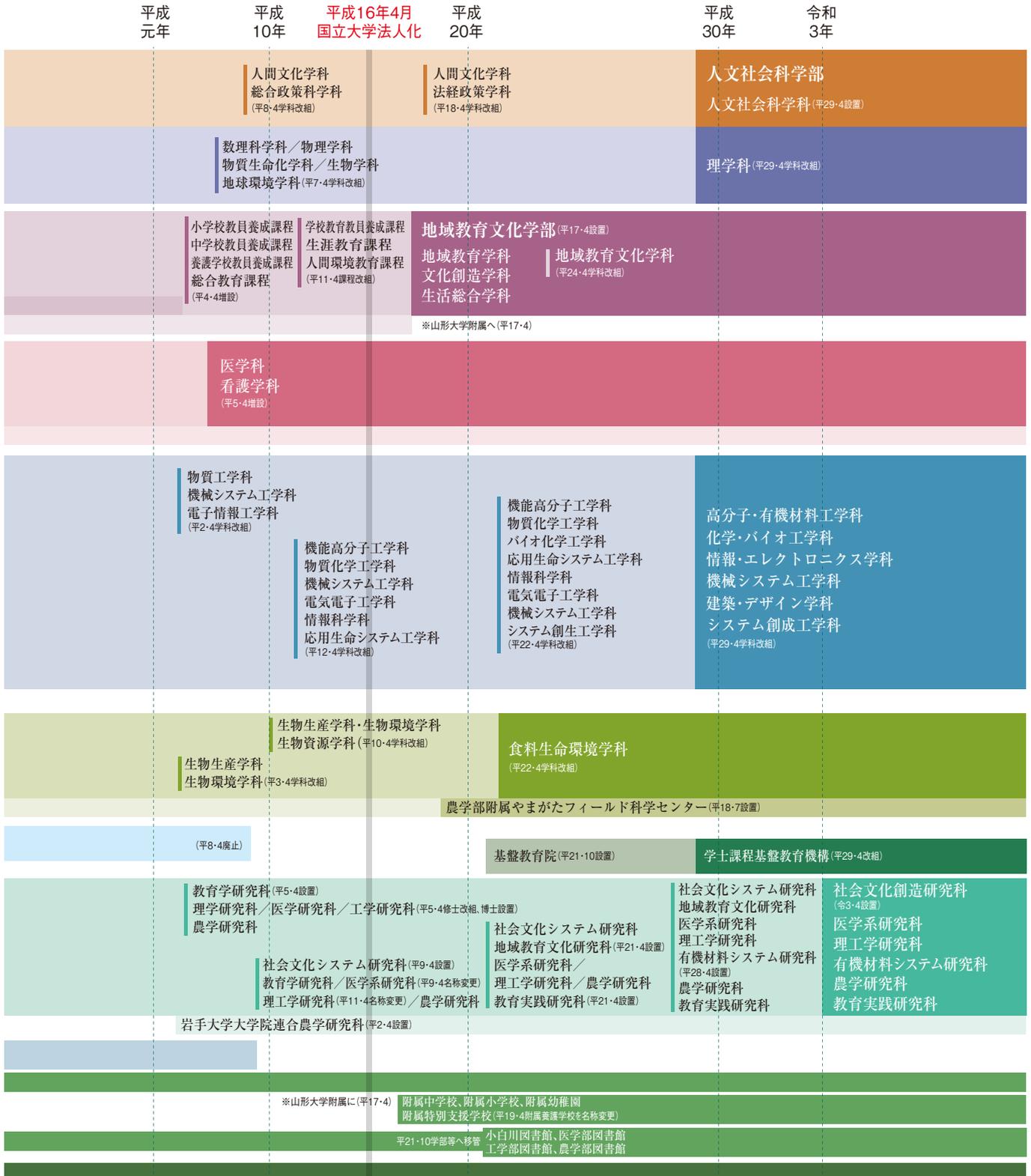
沿革

山形大学のはじまり

山形大学は、昭和24年（1949年）5月、山形高等学校・山形師範学校・山形青年師範学校・米沢工業専門学校・山形県立農林専門学校を母体として、文理学部・教育学部・工学部・農学部の4学部を有する新制国立大学として開学しました。

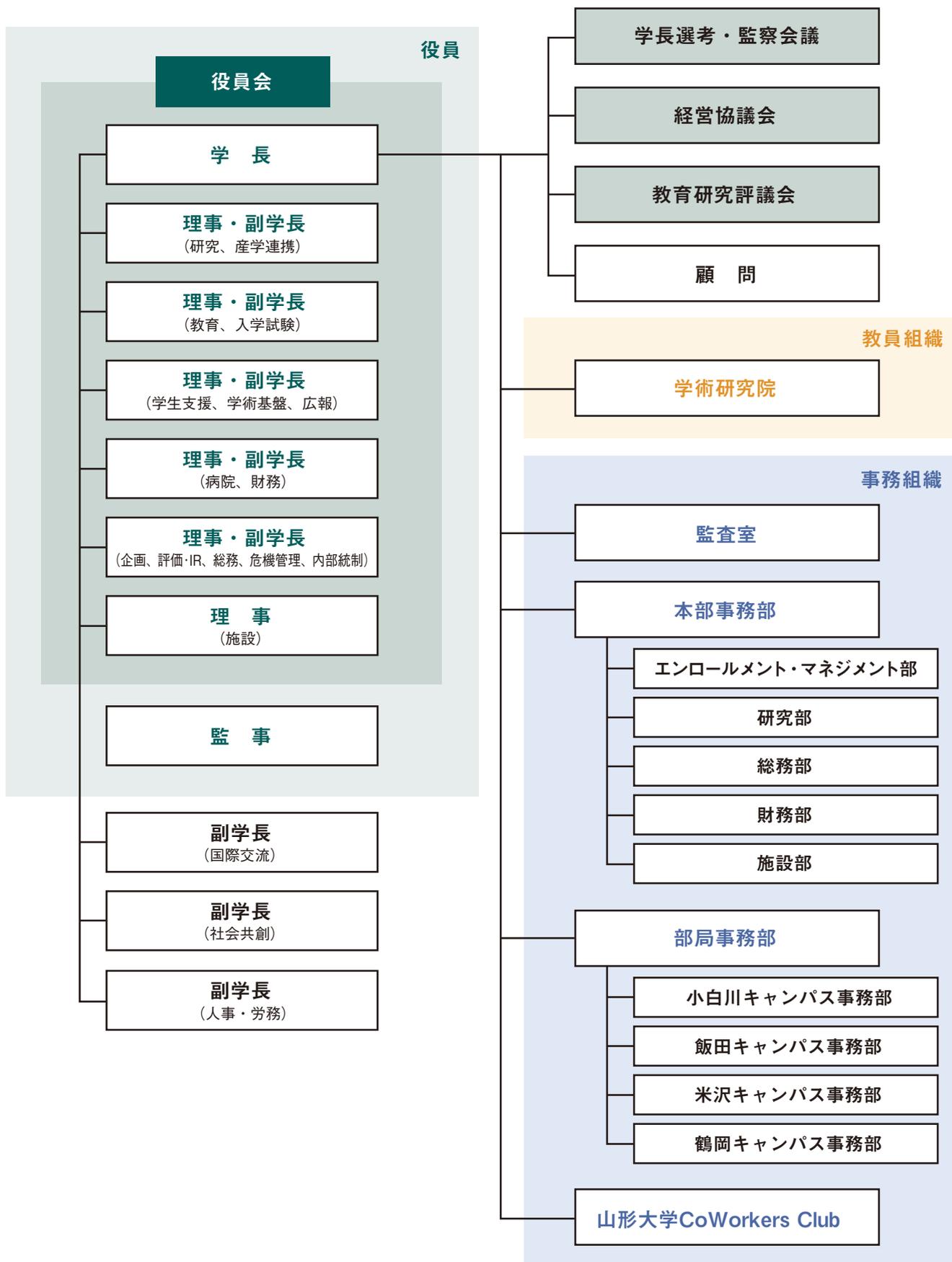


沿革



組織図

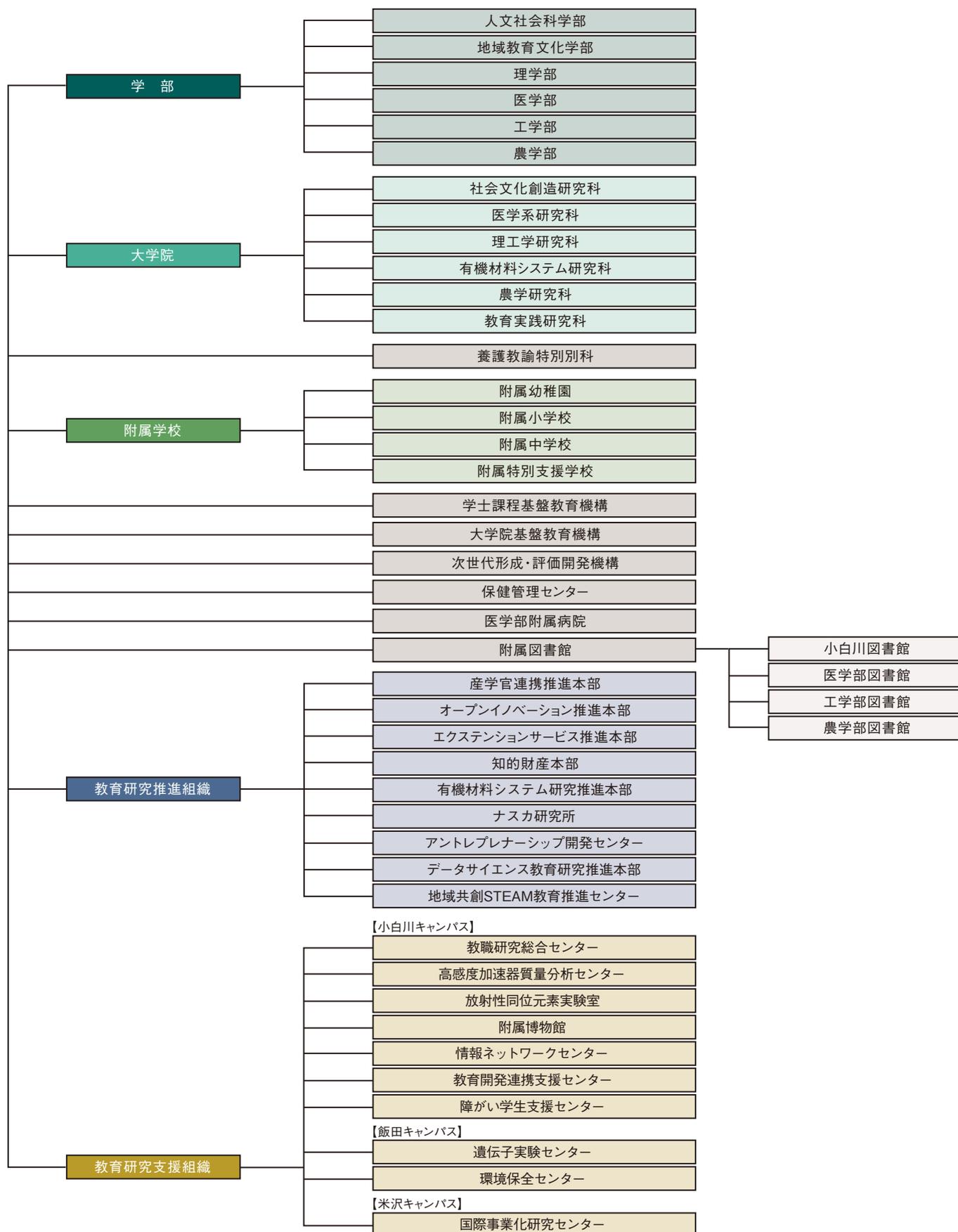
運営組織 (2022.4.1 現在)



組織図

※全学機能を持つ組織のみ掲載しています。

教育研究組織 (2022.4.1 現在)



役員・各委員・学内研究組織の長など

学長・理事・副学長・監事

(2022. 4. 1現在)

学長	玉手 英利	理事（施設担当）(非常勤)	瀧 晃
理事（研究、産学連携担当）・副学長	飯塚 博	副学長（国際交流担当）	林田 光祐
理事（教育、入学試験担当）・副学長	出口 毅	副学長（社会共創担当）	大森 桂
理事（学生支援、学術基盤、広報担当）・副学長	矢作 清	副学長（人事・労務担当）	羽鳥 政男
理事（病院、財務担当）・副学長	根本 建二	監事	渡辺 均
理事（企画、評価・IR、総務、危機管理、内部統制担当）・副学長	花輪 公雄	監事（非常勤）	大森 夏織

経営協議会委員

(2022. 4. 1現在)

学内委員	玉手 英利	飯塚 博	出口 毅	矢作 清	根本 建二
	花輪 公雄	瀧 晃	佐藤 慎哉		
学外委員	相澤 益男（公益社団法人科学技術国際交流センター 会長）				
	伊藤 眞知子（山形県男女共同参画センターチェリア 館長）				
	小林 裕明（株式会社山形新聞社 取締役論説委員長）				
	里村 正治（フィデアホールディングス株式会社 名誉顧問）				
	鈴木 道子（尚絅学院大学 学長）				
	西海 和久（株式会社ブリヂストン エクスターナルアドバイザー）				
	萩原 なつ子（独立行政法人国立女性教育会館 理事長）				
	長谷川眞理子（総合研究大学院大学 学長）				
吉村 美栄子（山形県知事）					

教育研究評議会評議員

(2022. 4. 1現在)

玉手 英利	飯塚 博	出口 毅	矢作 清	根本 建二	花輪 公雄	瀧 晃
林田 光祐	大森 桂	羽鳥 政男	是川 晴彦	中西 正樹	並河 英紀	上野 義之
黒田 充紀	村山 秀樹	伊藤 浩志	三上 英司	佐藤 慎哉	本多 薫	津留 俊英
宮地 義之	川前 金幸	今野 博行	渡部 徹			

学長選考・監察会議委員

(2022. 4. 1現在)

経営協議会選出委員	相澤 益男	伊藤 眞知子	小林 裕明	里村 正治	鈴木 道子
	西海 和久	長谷川眞理子			
教育研究評議会選出委員	是川 晴彦	中西 正樹	並河 英紀	上野 義之	黒田 充紀
	村山 秀樹	佐藤 慎哉			

顧問

(2022. 4. 1現在)

安房 毅	山形県中小企業団体中央会会長	長谷川 吉茂	山形県銀行協会会長
小野木 覺	山形県商工会連合会会長	船橋 吾一	山形県PTA連合会会長
寒河江 浩二	株式会社山形新聞社代表取締役社長	松村 英一	山形県工業会会長
佐藤 孝弘	山形市長	皆川 治	鶴岡市長
須貝 英彦	山形県高等学校長会会長	矢野 秀弥	山形県商工会議所連合会会長
土田 秀也	医療法人土田医院理事長	山口 秀子	やまがた女将会会長
中川 勝	米沢市長	平山 雅之	山形県副知事
中目 千之	山形県医師会長		

役員・各委員・学内研究組織の長など

学部長・副学部長

(2022. 4. 1 現在)

人文社会科学部	学部長	是川 晴彦				
	副学部長	本多 薫	鈴木 亨			
地域教育文化学部	学部長	中西 正樹				
	副学部長	津留 俊英	佐藤 博晴			
理学部	学部長	並河 英紀				
	副学部長	宮地 義之	金井塚 勝彦			
医学部	学部長	上野 義之				
	副学部長	川前 金幸	後藤 薫	浅尾 裕信	佐藤 慎哉	
		中島 修	永瀬 智	齋藤 貴史		
工学部	学部長	黒田 充紀				
	副学部長	今野 博行	齊藤 敦	杉本 昌隆	伊藤 浩志	
農学部	学部長	村山 秀樹				
	副学部長	渡部 徹	片平 光彦	塩野 義人		

研究科長・副研究科長

(2022. 4. 1 現在)

社会文化創造研究科	研究科長	是川 晴彦				
	副研究科長	中西 正樹				
医学系研究科	研究科長	上野 義之				
理工学研究科	研究科長	黒田 充紀				
	副研究科長	並河 英紀				
有機材料システム研究科	研究科長	伊藤 浩志				
農学研究科	研究科長	村山 秀樹				
教育実践研究科	研究科長	中西 正樹				

キャンパス長

(2022. 4. 1 現在)

小白川キャンパス	大西 彰正
飯田キャンパス	上野 義之
米沢キャンパス	黒田 充紀
鶴岡キャンパス	村山 秀樹

学内組織の長

(2022. 4. 1 現在)

附属幼稚園	園長	伊藤 顕吾	知的財産本部	本部長	飯塚 博
附属小学校	校長	林 敏幸	有機材料システム研究推進本部	本部長	玉手 英利
附属中学校	校長	早坂 智	ナスカ研究所	所長	是川 晴彦
附属特別支援学校	校長	川田 栄治	アントレプレナーシップ開発センター	センター長	小野寺 忠司
学士課程基盤教育機構	機構長	三上 英司	データサイエンス教育研究推進本部	本部長	出口 毅
大学院基盤教育機構	機構長	出口 毅	地域共創STEAM教育推進センター	センター長	大森 桂
次世代形成・評価開発機構	機構長	矢作 清	教職研究総合センター	センター長	中西 正樹
保健管理センター	所長	牧野 直彦	高感度加速器質量分析センター	センター長	大西 彰正
医学部附属病院	病院長	佐藤 慎哉	附属博物館	館長	大友 幸子
附属図書館 小白川図書館	館長	池田 光則	情報ネットワークセンター	センター長	吉田 浩司
附属図書館 医学部図書館	館長	村上 正泰	教育開発連携支援センター	センター長	栗山 恭直
附属図書館 工学部図書館	館長	安田 宗樹	障がい学生支援センター	センター長	牧野 直彦
附属図書館 農学部図書館	館長	堀口 健一	遺伝子実験センター	センター長	中島 修
産学官連携推進本部	本部長	飯塚 博	環境保全センター	センター長	藤井 聡
オープンイノベーション推進本部	本部長	飯塚 博	国際事業化研究センター	センター長	伊藤 浩志
エクステンションサービス推進本部	本部長	飯塚 博			

役員・各委員・学内研究組織の長など

学長補佐

(2022. 4. 1 現在)

人文社会科学部 准教授	池田 弘乃
地域教育文化学部 教授	名倉 明子
理学部 准教授	常松 佳恵
医学系研究科 教授	永瀬 智

理工学研究科（工学系） 准教授	高澤 由美
有機材料システム研究科 教授	東原 知哉
農学部 教授	藤科 智海

理事・副学長特別補佐

(2022. 7. 1 現在)

飯塚理事特別補佐		
人文社会科学部 教授	本多 薫	研究ディレクター
地域教育文化学部 教授	津留 俊英	研究ディレクター
理学部 教授	金井塚 勝彦	研究ディレクター
医学部 教授	川前 金幸	研究ディレクター
有機材料システム研究科 教授	伊藤 浩志	研究ディレクター
農学部 教授	渡部 徹	研究ディレクター
人文社会科学部 准教授	溜川 健一	研究支援
地域教育文化学部 准教授	本島 優子	研究支援
理学部 講師	渡邊 康紀	研究支援
医学部 教授	今田 恒夫	研究支援
理工学研究科 教授	落合 文吾	研究支援
理工学研究科 教授	古川 英光	研究支援
農学部 准教授	星野 友紀	研究支援
理工学研究科 教授	小野 浩幸	産学連携
理工学研究科 准教授	杉本 俊之	産学連携

矢作理事特別補佐			
地域教育文化学部 教授	渡邊 信晃	学生支援	
学士課程基盤教育機構 准教授	松坂 暢浩	就職支援	
学士課程基盤教育機構 教授	吉田 浩司	情報	

根本理事特別補佐		
医学部 助教	市川 真由美	重粒子線がん治療
医学部 助教	小野 崇	重粒子線がん治療
医学部 助教	赤松 妃呂子	重粒子線がん治療

花輪理事特別補佐			
医学部附属病院 准教授	森兼 啓太	危機管理	
法人本部 教授	浅野 茂	評価・IR	
理工学研究科 教授	落合 文吾	企画	

林田副学長特別補佐			
理学部 教授	栗山 恭直	SDGs	
学士課程基盤教育機構 教授	尤 銘煌	国際交流	

大森副学長特別補佐			
地域教育文化学部 教授	河野 銀子	ダイバーシティ	
法人本部 准教授	柿崎 悦子	ダイバーシティ	
人文社会科学部 教授	下平 裕之	社会共創	

羽鳥副学長特別補佐			
人文社会科学部 教授	コーエンズ久美子	ハラスメント防止	
人文社会科学部 准教授	池田 弘乃	ハラスメント防止	

出口理事特別補佐		
人文社会科学部 教授	中島 宏	教育
地域教育文化学部 准教授	鈴木 宏昭	教育
理工学研究科 教授	野々村 美宗	教育
大学院基盤教育機構 教授	古澤 宏幸	教育
学士課程基盤教育機構 准教授	飯島 隆広	教育
理学部 教授	松井 淳	入試

役員・各委員・学内研究組織の長など

事務部

(2022. 4. 1 現在)

エンロールメント・マネジメント部	
エンロールメント・マネジメント部長	小山 和佳
教育課長	伊藤 真由美
学生支援課長（兼務）	小山 和佳
入試課長	片桐 茂則
国際交流課長	今野 浩美
山形大学基金事務室長・山形大学校友会事務局長	樋口 浩朗

研究部	
研究部長	沼澤 利光
研究推進課長（兼務）	沼澤 利光
産学・地域連携課長	五味 康信

総務部	
総務部長	東海林 守一
企画IR課長	川田 正之
総務課長	佐竹 弘顕
人事課長	菅井 和明
労務課長	笠原 龍司

財務部	
財務部長	佐藤 秀雄
財務課長（兼務）	佐藤 秀雄
経理課長	齋藤 敏宏

施設部	
施設部長	平野 正幸
施設企画課長	穴戸 佳広
施設整備課長	三浦 正弘

小白川キャンパス事務部	
小白川キャンパス事務部長	池野 尚美
総務課長	高橋 勝俊
運営支援課長	佐藤 俊次
入試課長（兼務）	池野 尚美

飯田キャンパス事務部	
飯田キャンパス事務部長	阿部 幸治
総務課長	篠塚 清幸
経営戦略課長	鳥前 貴志
管理課長	矢萩 信美
学務課長	長南 靖
研究支援課長	海野 博之
医事課長	平 昭彦

米沢キャンパス事務部	
米沢キャンパス事務部長	庄司 三輝
総務課長	阿部 賢二
会計課長	海野 真紀子
学務課長	菊地 吉見
研究支援課長（兼務）	庄司 三輝

鶴岡キャンパス事務部	
鶴岡キャンパス事務部長	斉藤 勤也
総務課長	小野 秀勝
学務課長（兼務）	斉藤 勤也

教職員数（職別）

(2022. 5. 1 現在)

区 分	学長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	計	医療	技術	事務	計	常勤合計
学 長	1									1				0	1
理 事		6 (1)								6 (1)				0	6 (1)
監 事			2 (1)							2 (1)				0	2 (1)
法人本部				6	3					9		17	88	105	114
人文社会科学部				42	28	7				77				0	77
地域教育文化学部				35	27	9				71				0	71
理学部				40	18	5	10	1		74		3		3	77
小白川キャンパス事務部										0	3	3	70	76	76
医学部				41	30	19	87	2		179	1	22		23	202
医学部附属病院				1	6	21	63	1		92	1,026	6		1,032	1,124
飯田キャンパス事務部										0		6	92	98	98
工学部				75	67		43			185		42	3	45	230
米沢キャンパス事務部										0	1	3	39	43	43
農学部				25	29		10			64		11		11	75
鶴岡キャンパス事務部										0	1	3	18	22	22
YUCWC										0		1	39	40	40
学士課程基盤教育機構				5	13	1				19				0	19
大学院基盤教育機構				1			1			2				0	2
保健管理センター				1	1		1			3				0	3
障がい学生支援センター					1					1				0	1
附属学校									90	90				0	90
合 計	1	6 (1)	2 (1)	272	223	62	215	4	90	875 (2)	1,032	117	349	1,498	2,373 (2)

[注1] () 内の数は非常勤で内数

[注2] 技術には、施設系、図書系を含む

※1 地域教育文化学部には大学院教育実践研究科を含む

※2 医学部には大学院医学系研究科を含む

※3 工学部には大学院理工学研究科、大学院有機材料システム研究科、米沢キャンパスを含む

在学者数（学部）

(2022. 5. 1 現在)

区 分	学科・課程	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員	現員	
人文学部	人間文化学科	2017.4 学生募集停止			5	
	法経政策学科				6	
	小計				11	
人文社会科学部	人文社会科学学科	290	20	1,200	1,278	
	小計	290	20	1,200	1,278	
地域教育文化学部	地域教育文化学科	175		700	726	
	小計	175		700	726	
理学部	理学科	210		840	896	
	数理科学科	2017.4 学生募集停止			3	
	物理学科				1	
	小計	210		840	900	
医学部	医学科	113		696	711	
	看護学科	60	5	250	242	
	小計	173	5	946	953	
工学部	昼間コース	高分子・有機材料工学科	140		560	588
		化学・バイオ工学科	140		560	598
		情報・エレクトロニクス学科	150		600	642
		機械システム工学科	140		560	597
		建築・デザイン学科	30		120	126
		機能高分子工学科	2017.4 学生募集停止			6
		物質化学工学科				1
		バイオ化学工学科				1
		情報科学科				2
		電気電子工学科				1
	小計	600		2,400	2,562	
	フレックス コース	システム創成工学科	50		200	208
小計		50		200	208	
農学部	食料生命環境学科	165		660	684	
	小計	165		660	684	
合 計		1,663	25	6,946	7,322	

在学者数（大学院・別科）

大学院

(2022. 5. 1 現在)

区分		入学定員	収容定員	現員
社会文化創造研究科	(修士課程)	24	48	52
社会文化システム研究科	(修士課程)	2021.4 学生募集停止		2
地域教育文化研究科	(修士課程)			2
医学系研究科	(博士課程)	26	104	114
	(博士前期課程)	22	44	46
	(博士後期課程)	7	21	30
	小計	55	169	190
理工学研究科	(博士前期課程)	257	514	566
	(博士後期課程)	21	63	62
	小計	278	577	628
有機材料システム研究科	(博士前期課程)	98	196	230
	(博士後期課程)	10	30	48
	小計	108	226	278
農学研究科	(修士課程)	32	64	96
教育実践研究科	(専門職学位課程)	20	40	38
計		517	1,124	1,286
岩手大学大学院連合農学研究科	(博士課程)	24	72	88 (21)

※現員欄の（）内数字は、山形大学（指導教員）に属する学生数で内数

別科

(2022. 5. 1 現在)

区分	入学定員	現員
養護教諭特別別科	40	48

都道府県別志願者・入学者数

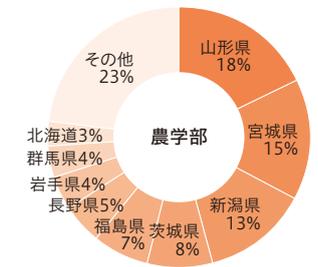
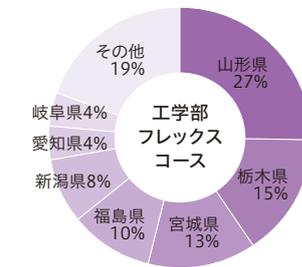
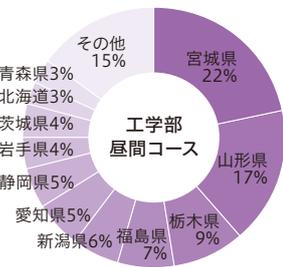
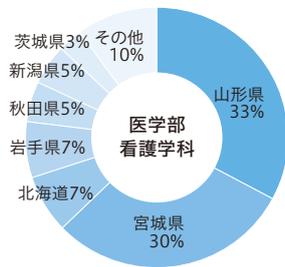
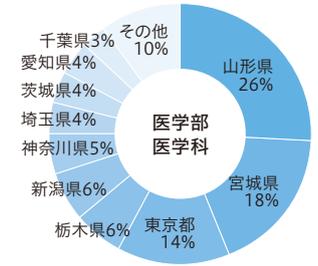
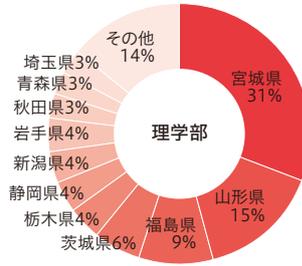
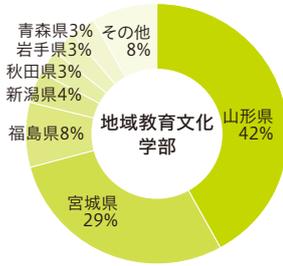
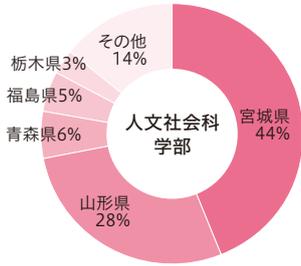
学部別

(2022. 4. 1 現在)

2022年度における各学部への入学者数の上位県です。

合計 入学者数 **1,676人** / 志願者数 **5,078人**

※社会人と外国人留学生を除く。



都道府県別

2022年度における都道府県別の入学者数と志願者数です。(都道府県 入学者数 / 志願者数)

九州地方

福岡県	1 / 2
佐賀県	0 / 2
長崎県	3 / 7
熊本県	1 / 3
大分県	1 / 2
宮崎県	0 / 2
鹿児島県	0 / 5
沖縄県	4 / 14

その他(認定試験等)
5 / 19

中国地方

鳥取県	1 / 4
島根県	1 / 2
岡山県	3 / 15
広島県	1 / 4
山口県	0 / 1

近畿地方

三重県	10 / 21
滋賀県	1 / 3
京都府	8 / 13
大阪府	5 / 23
兵庫県	6 / 32
奈良県	1 / 5
和歌山県	1 / 5



東北地方

青森県	51 / 120
岩手県	58 / 156
宮城県	447 / 1,302
秋田県	34 / 111
山形県	385 / 1,071
福島県	110 / 342

関東地方

茨城県	63 / 172
栃木県	95 / 264
群馬県	22 / 84
埼玉県	23 / 104
千葉県	17 / 82
東京都	30 / 197
神奈川県	19 / 82

北陸・中部・東海地方

新潟県	90 / 274
富山県	8 / 26
石川県	5 / 14
福井県	1 / 4
山梨県	7 / 21
長野県	24 / 79
岐阜県	7 / 23
静岡県	43 / 107
愛知県	44 / 134

四国地方

徳島県	3 / 7
香川県	0 / 2
愛媛県	0 / 0
高知県	0 / 1

学位授与者数・卒業者数累計

学位授与者数・累計

(2022. 5. 1 現在)

種 別	2021 年度				累 計			
	修士	博士		教職修士	修士	博士		教職修士
研究科		課程	論文			課程	論文	
社会文化システム研究科	18	—	—	—	318	—	—	—
地域教育文化研究科	13	—	—	—	173	—	—	—
医学系研究科	10	27	1	—	458	856	611	—
理工学研究科	271	14	2	—	10,207	601	108	—
有機材料システム研究科	78	11	—	—	393	28	—	—
農学研究科	32	—	—	—	1,303	—	—	—
教育実践研究科	—	—	—	20	—	—	—	245
(教育学研究科)	—	—	—	—	630	—	—	—
(理学研究科)	—	—	—	—	616	—	—	—
計	422	52	3	20	14,098	1,485	719	245

卒業者数・累計

(2022. 5. 1 現在)

区 分	2021 年度	累 計
人文社会科学部（人文学部含む）	313	13,328
地域教育文化学部（教育学部含む）	171	20,011
理学部	204	8,256
医学部	194	6,363
工学部	670	34,100
農学部	161	9,491
文理学部（昭和46年4月1日 廃止）	—	2,509
工業短期大学部（昭和60年10月1日 廃止）	—	2,367
計	1,713	96,434

※ 地域教育文化学部の卒業者数は、教育学部（2年課程・4年課程）の卒業者を含む。

卒業生・修了者の就職状況（2021年度実績）

学部

所属（学部）	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職率	就職状況内訳	
						県内	県外
人文社会科学部（人文学部含む）	310	9	267	267	100.0%	76	191
地域教育文化学部	169	21	136	136	100.0%	61	75
理学部	200	76	107	107	100.0%	27	80
医学部	194	8	171	170	99.4%	50	120
工学部 昼間コース	604	327	252	252	100.0%	47	205
工学部 フレックスコース	56	28	26	26	100.0%	9	17
農学部	158	38	109	109	100.0%	24	85
学部 計	1,691	507	951	950	99.9%	257	693

大学院

所属（研究科）	修了者数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職率	就職状況内訳	
						県内	県外
社会文化システム研究科	17	0	3	3	100.0%	1	2
地域教育文化研究科	13	0	9	9	100.0%	3	6
医学系研究科	33	0	33	32	97.0%	24	8
理工学研究科（理学系）	48	5	39	39	100.0%	7	32
理工学研究科（工学系）	229	6	212	209	98.7%	13	196
有機材料システム研究科	87	6	77	76	98.7%	6	70
農学研究科	30	2	23	23	100.0%	2	21
教育実践研究科	20	0	19	19	100.0%	18	1
大学院 計	477	19	415	410	98.8%	74	336

別科

所属（別科）	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職率	就職状況内訳	
						県内	県外
養護教諭特別別科	40	0	35	35	100.0%	14	21

留学生

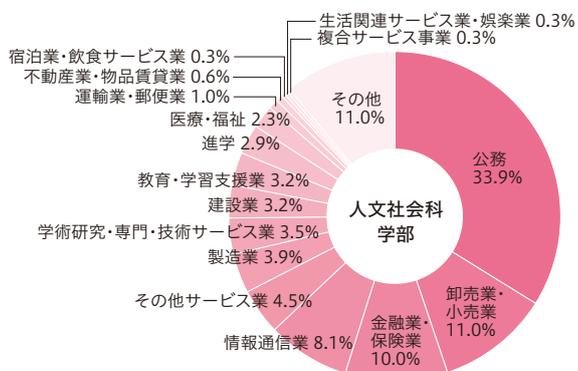
所属	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職率	就職状況内訳	
						県内	県外
学部	11	6	1	1	100.0%	0	1
大学院	40	7	11	7	63.6%	2	5

[注]2021年9月卒業・修了を含まない。

卒業生・修了者の就職状況（業種別）（2021年度実績）

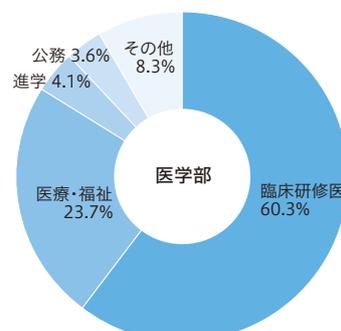
人文社会科学部

就職率 **100%**（就職決定者／就職希望者）



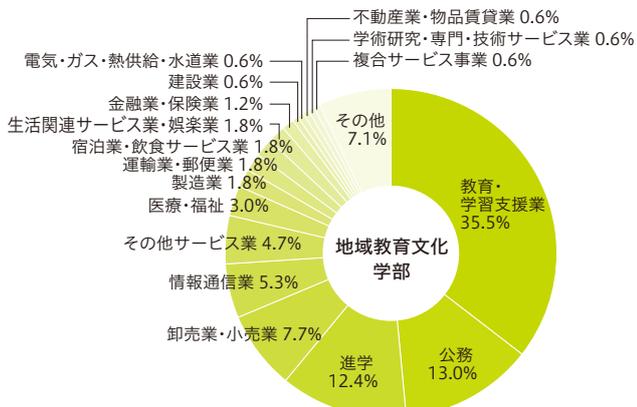
医学部

就職率 **99.4%**（就職決定者／就職希望者）



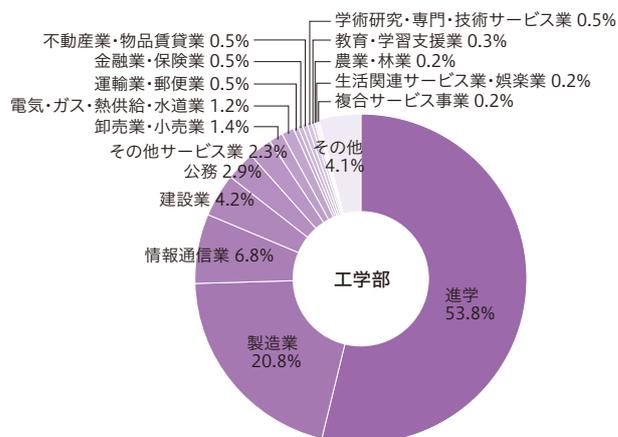
地域教育文化学部

就職率 **100%**（就職決定者／就職希望者）



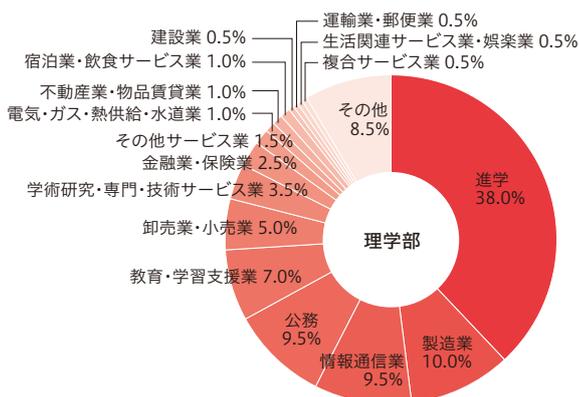
工学部

就職率 **100%**（就職決定者／就職希望者）



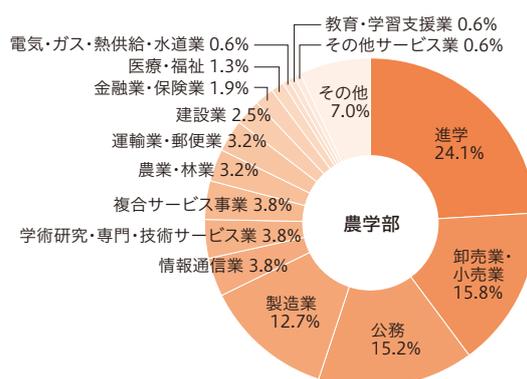
理学部

就職率 **100%**（就職決定者／就職希望者）



農学部

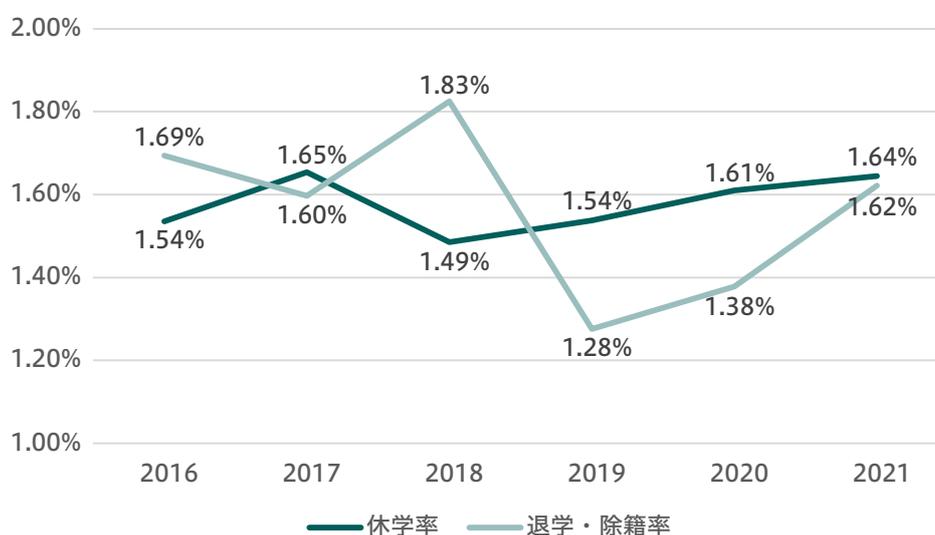
就職率 **100%**（就職決定者／就職希望者）



学生の休学率・退学・除籍率

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
学生数	8,856	8,828	8,821	8,779	8,634	8,635
休学者	136	146	131	135	139	142
退学・除籍者	150	141	161	112	119	140
休学率	1.54%	1.65%	1.49%	1.54%	1.61%	1.64%
退学・除籍率	1.69%	1.60%	1.83%	1.28%	1.38%	1.62%

※学生数については、学士課程および大学院課程の学生数。



キャンパス面積

主要キャンパス	面積
小白川キャンパス（本部、人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部など）	約12ha
飯田キャンパス（医学部、附属病院など）	約19ha
附属学校園（松波・飯田西）	約8ha
米沢キャンパス（工学部、国際事業化研究センターなど）	約15ha
鶴岡キャンパス（農学部、やまがたフィールド科学センターなど）	約784ha
主要キャンパス 計	約838ha

サークル一覧

全キャンパス合計 225

(2022. 8. 1 現在)

小白川キャンパス

体育系 合計 58

clover ~硬式テニスサークル~	剣道サークル	水泳部	バドミントンサークルスマッシュ No.1
King Kids サークル	剣道部	スキー部	バドミントン部
SALIBANDY 部	硬式庭球部	スノーボードサークル「FreeStyle」	花笠サークル「四面楚歌」
Style & 表現研究会	硬式野球部	漕艇部	パラグライダー部
アーチェリー部	小白川バスケットボール会	ソフトテニス部	バレーすっぞの会
合気道部	小白川ビリヤードサークル	ソフトボールサークル	バレーボール同好会
アイスホッケー部	コピーダンスサークルtwinkle	卓球部	フェンシング部
アクアライフ	自然に親しむ会	男子サッカー部	フットサル同好会
汗をかく会	自転車部	男子バスケットボール部	フライングディスク同好会
アメリカンフットボール部	柔道部	男子バレーボール部	ボクササイズサークル
居合道同好会	少林寺拳法部	男子ハンドボール部	ラグビー部
空手道部	女子サッカー部	チアダンスサークル「Cherries」	陸上競技部
基礎スキー同好会	女子バスケットボール部	トライアスロン部	ワンダーフォーゲル部
弓道部	女子バレーボール部	軟式野球部	
競技舞踏部	女子ハンドボール部	バーベルクラブ	

文化系 合計 42

IF (International Friendship)	音楽研究会	障害児教育研究会	学び場プラス
IVY youth	かるた部	書道部	漫画研究会「COJIMA」
JAZZ 研究会	くるみぼたんの会	吹奏楽団	マンドリンクラブ
JCC	軽音楽研究会	聖書研究水曜会	ラジオサークルHBK
アカペラサークル「Smile」	劇団めざましどけい	Team 道草	料理サークル「CUCINA」
囲碁将棋部	混声合唱団	地学研究会	歴史学研究会
うたごえサークルとまり火	茶道部	美術部	ポケモン同好会
裏千家茶道サークル千歳	史跡サークル	フィルハーモニーオーケストラ	郷土食文化研究会
演劇集団舞台工房	篠笛愛好会	フリーペーパーサークル"Y-ai!"	生物学研究会
お笑いサークル	ジャグリング同好会	文芸部	
音楽愛好会	写真部	放送研究会	

飯田キャンパス

体育系 合計 23

バレーボール部	ラグビー部	競技スキー部	フットサル部
卓球部	陸上競技部	硬式テニス部	ハンドボール部
バスケットボール部	ゴルフ部	ソフトテニス部	ソフトボール部
少林寺拳法部	ヨット部	準硬式野球部	合気道部
空手道部	弓道部	サッカー部	ワンダーフォーゲル部
水泳部	バドミントン部	剣道部	

文化系 合計 8

DoD (Dance or Die) ダンス部	聖書研究会	同窓会新聞部	囲碁将棋部
室内合奏団	軽音楽部 Sound Room	映画部	YMSA (Yamagata Medical Student Association)

サークル一覧

米沢キャンパス

体育系 合計 32

ARK(バスケットボールサークル)	硬式野球部	少林寺拳法部	表現研究会
アクアライフ	小白川バスケット会米沢支部	漕艇部工学部支部	陸上競技部
アメリカンフットボール部	サイクリングサークル	卓球部	和道流空手道部
居合道同好会米沢支部	サッカー部	ソフトテニス部	花笠サークル四面楚歌工学部支部
基礎スキー同好会 Big Boots	サリバンディ部	バスケットボール部	工学部WorkOut
弓道部	自然に親しむ会	バドミントン同好会	
剣道部	自転車競技部	バドミントン部	
硬式庭球会	自動車部	パラグライダー部	
硬式庭球部	柔道部	男子バレーボール部	

文化系 合計 25

JAZZ研究会	グリークラブ	吹奏楽団	ゆきんこ
アカデミースtrings合奏団	軽音楽研究会	聖書研究会	ロボ・タスティクス
アカペラサークルLien	劇団スピリッツ	地学研究会	写真サークルTAKE!
吾妻祭実行委員会【大学祭】	国際交流サークルYUICY	コンピュータ研究会	工学部VR部
囲碁・将棋部	茶道部	漫画研究会	
音楽サークル 青い空	ジャグリングサークル	無線研究会	
ギター・マンドリンクラブ	人力飛行機研究会(クラフト・パル)	模型サークル	

鶴岡キャンパス

体育系 合計 20

アーチェリー部	自然に親しむ会	バスケットボール部(UYTC)	アクアライフ
合気道部	少林寺拳法部	バドミントン部	軟式野球サークル(ニャートルズ)
T.O.F.C.	ソフトテニス部	バレーボール部	フライングディスク同好会
陸上競技部	卓球部	フットサルサークル	漕艇部
自転車部	花笠サークル四面楚歌	ワンダーフォーゲル部	アメリカンフットボール部 鶴岡支部

文化系 合計 17

OH, ONE!	マンドリンクラブ	ほとろあ環境調査サークル	医学部クイズ研究会農学部支部
うたごえサークルとまり火	吹奏楽団	アカペラサークルSmile	ビリヤードサークル
地学研究会	重音楽研究会	農学部JAZZ研究会	
タキタロウボランティアサークル	テーブルゲームの会	推し事屋さん	
森の民	献血推進サークルCrane crane	鶴寿祭実行委員会	

大学間交流協定締結数

大学間協定

(2022. 5. 1 現在)

アメリカ	オクラホマ大学
	テキサス大学アーリントン校
	ハワイ大学コミュニティカレッジ
	プレスビテリアンカレッジ
アルメニア共和国	ロシア＝アルメニア（スラヴ）大学
イギリス	マンチェスター大学人文科学学部
	ヨーク・セントジョン大学
イタリア	パルマ大学
	トリノ大学
インドネシア	ガジャマダ大学
	モハマディアン大学
	パジャジャラン大学
エストニア	タリン大学
オランダ	ライデン大学
	ハーグ応用科学大学
カナダ	モントリオール大学
韓国	仁済大学校
	済州大学校
	全南大学校
	◆忠北大学校
	大邱大学校
	漢陽大学校 ERICA キャンパス
世宗大学	
ケニア	ジョモケニヤッタ農工大学
スイス	◆ヨーロッパ原子核研究機構（CERN）
スペイン	サラマンカ大学
	リエイダ大学
タイ	コンケン大学
	スラナリー工科大学
	◆タイ国科学技術開発庁
	チェンマイ大学
	モンクット王ラカバン工科大学
	ラジャマンガラ工科大学タニャブリ校
	泰日工業大学
	プリンスオブソンクラ大学
台湾	銘傳大学
	台湾師範大学
	中山大学
	輔仁大学
	文藻外語大学
	国立中興大学
国立台湾科技大学	
チェコ	◆トーマスバタ大学

中国	延辺大学
	河南師範大学
	◆河北医科大学
	◆華北理工大学
	吉林大学
	黒竜江八一農墾大学
	上海工程技術大学
	大連理工大学
	東北電力大学
	青島農業大学
	◆哈爾濱医科大学
	哈爾濱工業大学
	福建師範大学
	北京林業大学
	山西師範大学
	広西師範大学
チリ	タルカ大学
ドイツ	ライプニッツ・ハノーヴァー大学
パキスタン	コムサッツ情報科学大学
フィリピン	サン・カルロス大学
	シリマン大学
フランス	エンデラン大学
	アンジェ大学
ブルネイ	◆アルケマ社
ベトナム	ブルネイダルサラーム大学
	ベトナム国家農業大学（旧ハノイ農業大学）
	カントー大学
	ハノイ国家大学自然科学大学
フエ大学	
ベナン共和国	アボメカラビ大学
ペルー	カトリカ大学
	サン・マルコス国立大学
	ペルー国立工科大学
	◆ペルー文化省
	ラ・モリーナ国立農業大学
	サンイグナシオデロヨール大学
ボリビア	サンアンドレス大学
マレーシア	マラヤ大学
	マレーシア工科大学
モンゴル	新モンゴル学園
	モンゴル人文大学
	モンゴル生命科学大学
ラトビア	ラトビア大学
リトアニア	ビリニユス大学
ロシア	M.Kアモソフ記念北東連邦大学
	ブリヤート国立大学
計 31 国・地域 89 機関（交換留学制度締結機関 80 機関）	

◆印のある機関については、大学間の交換留学制度なし。

学部間交流協定締結数

学部間協定

(2022. 5. 1 現在)

人文社会科学部	
韓国	全南大学校人文大学
タイ	メーファールアン大学
台湾	台湾成功大学
中国	広西師範大学
	哈爾濱工業大学外国語学院
	東北電力大学
ドイツ	デュースブルクエッセン大学東アジア研究院
フィリピン	サマル国立大学
フランス	パリ・ナンテール大学
ミャンマー	カチン大学
メキシコ	グアナファト大学
ロシア	サハリン国立大学
	ブリヤート国立大学東洋学部
地域教育文化学部	
韓国	仁済大学校人文社会科学大学
台湾	銘傳大学応用語文学院
	台湾師範大学スポーツとレジャー学院
	文藻外語大学
中国	北華大学
	東北電力大学
	北京師範大学教育学部
ラトビア	ラトビア大学現代言語学部
ルーマニア	ブカレスト大学
理学部	
アメリカ	ハワイ大学マノア校海洋・地球科学・テクノロジー学部
インドネシア	ガジャマダ大学生物学部
韓国	大邱大学校自然科学大学
	釜山大学校自然科学大学
中国	福建師範大学
	北京林業大学理学院
医学部	
イタリア	モデナ・レッジョ・エミリア大学
韓国	延世大学医学部
	ソウル国立病院
スウェーデン	ウプサラ大学医学部
タイ	マヒドン大学医学部ラマティボディ病院
中国	上海交通大学医学院
	浙江大学医学院
	華北理工大学臨床医学院
	哈爾濱医科大学
	寧夏医科大学
	河北医科大学
復旦大学公共衛生学院	
バングラデシュ	山形ダッカ友好病院

工学部	
アメリカ	テキサス州立大学サンマルコス校
	テキサス大学ダラス校工学部
	バーモント大学及び州立農業カレッジ
インド	コーチン科学技術大学
カナダ	サイモンフレイザー大学応用科学部
	ブリティッシュコロンビア工科大学
タイ	シラパコーン大学工学・産業技術学部
台湾	パトムワン工科大学工学部
	カセサート大学理学部
	台湾大学工学院・電気情報学院
中国	国立中央大学工学院
	国立台北科技大学工学院
	長庚大学工学部
中国	吉林化工学院
	河南大学化学化工学院
	中国科学院化学研究所
	東華大学材料科学工程学院
	河南理工大学
	長春理工大学
ドイツ	フラウンホーファー FEP
バングラデシュ	ラジシャヒ大学工学部
フランス	フランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA)
マレーシア	トゥンクアブドゥルラーマン大学応用科学部
韓国・中国・日本	韓国海洋大学・大理大学・日本NPOセンター
農学部	
インドネシア	インドネシア林業省森林研究開発庁保全修復センター
	ガジャマダ大学林学部
	ガジャマダ大学農学部
	ガジャマダ大学農業工学部
	ガジャマダ大学数学・自然科学部
	ボゴール農科大学農業工学部
	ムラワルマン大学林学部
	ジェンデルアルアチマドヤニ大学数学・自然科学部
	東南アジア熱帯生物学センター
インドネシアイスラム大学	
カメルーン	ヤウンデ第一大学理学部
タイ	カセサート大学農学部カンペンセン校
	カセサート大学理学部
中国	キング・モンクット工科大学トンブリ校
中国	福建農林大学資源環境学院
ドイツ	コブレンツ応用科学大学建築芸術材料科学部
ドイツ	ルール大学ボーフム地球科学部
バングラデシュ	シエレ・バングラ農業大学
フィリピン	ピサヤ大学
ベトナム	ベトナム社会主義共和国国立土木大学環境工学部
ベナン共和国	駐日ベナン共和国大使館 (パートナーシップ協定)
ラオス	ラオス国立大学工学部
附属博物館	
イタリア	ボローニャ大学附属博物館
計 24カ国・地域 89機関	

外国人教員数

(2022. 5. 1 現在)

教授	准教授	講師	助教	計
9	8	1	14	32

留学生数

留学生合計：259人 留学生比率：3%

(2022. 5. 1 現在)

学士課程			修士課程			博士課程			
国費 留学生	マレーシア	2	国費 留学生	インド	1	国費 留学生	バングラデシュ	3	
	バングラデシュ	1		タイ	1		グアテマラ	1	
私費 留学生	マレーシア	12	私費 留学生	インドネシア	8		私費 留学生	インドネシア	2
	韓国（・朝鮮）	11		セネガル	1			カンボジア	1
	ベトナム	4		マレーシア	2	タイ		1	
	中国	87		中国	37	シンガポール		1	
	台湾	4	バングラデシュ	1	中国	12			
	ポリビア	1	台湾	3	インド	1			
	ミャンマー	1	スペイン	1	ドイツ	2			
	タイ	2	イタリア	1	モンゴル	1			
	モンゴル	3	ラトビア	1	コンゴ民主共和国	1			
	ネパール	1	ペルー	4	カメルーン	1			
	イギリス	2	インドネシア	4	ベナン	2			
	オランダ	1	フィリピン	1	計	29			
	ドイツ	1	モンゴル	1					
	スペイン	2	ベトナム	2					
	ロシア連邦	2	ケニア	1					
	アメリカ	1	ザンビア	1					
インドネシア	12	エチオピア	1						
計	150	ルワンダ	3						
		ベナン	1						
		赤道ギニア	1						
		ドイツ	1						
		ロシア連邦	2						
		計	80						

学生海外派遣状況



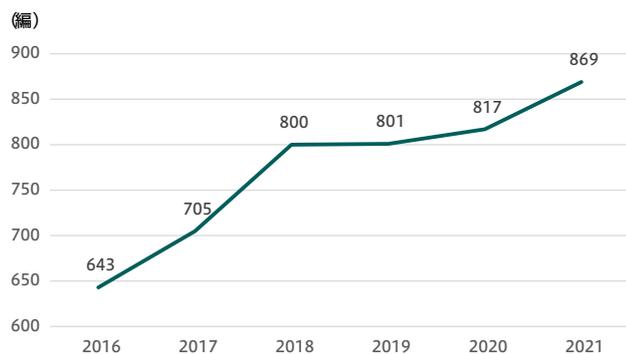
※ 2020年度以降、コロナウイルス感染症の影響により減少している。

海外拠点一覧

- 延辺海外拠点 (中国)
- ハノイ海外拠点 (ベトナム)
- ジョグジャカルタ海外拠点 (インドネシア)
- ナイロビ海外拠点 (ケニア)
- リマ海外拠点 (ペルー)
- リガ海外拠点 (ラトビア)
- ウランバートル海外拠点 (モンゴル)



国際的な学術誌への掲載論文数



地域企業等 (東北全体) との共同研究数



予算額



附属病院収益



研究費・外部資金等受入実績

補助金等交付実績

(単位：千円)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	670,692	1,262,053	1,445,427	761,542	2,284,187	3,237,680
間接経費	1,491	8,148	9,463	11,818	8,797	10,125
合計	672,183	1,270,201	1,454,890	773,360	2,292,984	3,247,805

受託研究受入実績

(単位：千円)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	1,251,960	1,040,152	1,092,164	1,016,115	1,103,529	1,024,349
間接経費	238,959	276,106	279,027	259,721	263,847	290,863
合計	1,490,919	1,316,258	1,371,191	1,275,836	1,367,376	1,315,212

共同研究受入実績

(単位：千円)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	642,550	763,960	799,291	809,991	686,241	561,932
間接経費	10,729	302	18,722	108,468	103,810	121,839
合計	653,279	764,262	818,013	918,459	790,051	683,771

受託事業受入実績

(単位：千円)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
直接経費	265,398	346,023	426,287	385,291	367,041	427,713
間接経費	3,355	6,162	111,849	24,480	20,713	29,715
合計	268,753	352,185	538,136	409,771	387,754	457,428

科学研究費補助金受入実績

(単位：千円)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
件数	557	552	537	554	543	564
直接経費（相当額）	746,412	689,561	604,751	644,366	851,912	700,591
間接経費	218,015	208,037	183,368	189,279	210,682	196,560
合計	964,427	897,598	788,119	833,645	1,062,594	897,151

※受入額は、年度内の転入・転出および分担者への送金等を差引した金額である。また、件数は交付決定の件数。

大型の教育研究等の補助事業の実施状況（2021事業年度）

(単位：千円)

名称	交付元	交付額
【科学研究費補助金】 大型偏極ターゲットを用いた核子スピンのクォーク構造の解明 【基盤研究 (S)】	日本学術振興会	155,200
【補助金】 大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免費交付金	文部科学省	328,715
【補助金】 山形県新型コロナウイルス感染症患者入院病床確保対策事業費補助金	山形県	1,097,636
【補助金】 山形県次世代型重粒子線がん治療装置開発整備事業補助金	山形県	600,000

図書館の蔵書数・利用状況

図書冊数（和書、洋書あわせて）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
小白川図書館	722,873	721,188	721,808	722,924	724,089	725,604
医学部図書館	60,034	60,474	93,571	93,824	93,411	93,555
工学部図書館	175,133	175,487	175,932	176,294	175,804	174,958
農学部図書館	100,425	101,310	101,649	102,028	102,650	103,361

学術雑誌タイトル数（和書、洋書あわせて）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
小白川図書館	13,197	13,215	13,237	13,261	13,264	13,284
医学部図書館	32,771	32,773	4,980	4,994	5,010	5,017
工学部図書館	3,431	3,441	3,423	3,430	3,438	3,427
農学部図書館	3,239	3,243	3,243	3,244	3,245	3,256

電子ジャーナル契約数

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
小白川図書館	6,453	6,331	6,331	6,441	6,382	6,409
医学部図書館	1,379	1,449	1,553	1,567	1,602	1,648
工学部図書館	50	53	56	60	65	64
農学部図書館	0	0	0	2	1	0

貸出冊数（学内外あわせて）

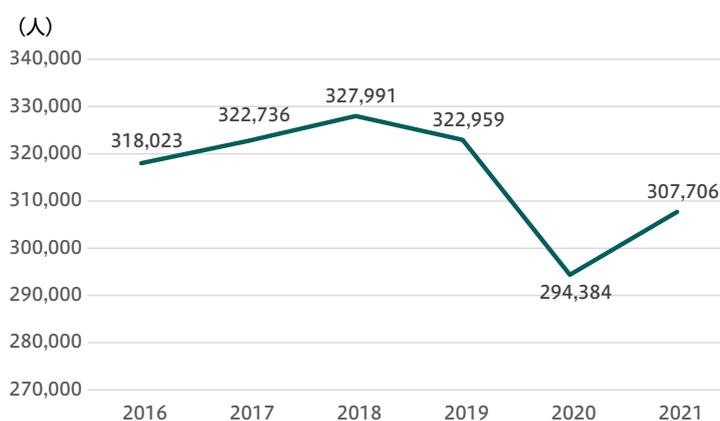
	2016	2017	2018	2019	2020	2021
小白川図書館	36,633	30,953	30,006	29,596	9,806	18,385
医学部図書館	6,859	4,727	3,877	3,838	2,373	2,536
工学部図書館	17,714	15,139	12,279	12,279	5,007	6,197
農学部図書館	3,065	3,167	2,459	2,284	1,350	1,807

附属病院の診療科一覧・患者数

診療科一覧

第一内科	眼科
第二内科	耳鼻咽喉科
第三内科	泌尿器科
小児科	麻酔科
精神科	歯科口腔外科
皮膚科	形成外科
放射線診断科	救急科（救急部）
放射線治療科	高次脳機能科
第一外科	腫瘍内科
第二外科	病理診断科
脳神経外科	リハビリテーション科
整形外科	疼痛緩和内科
産科婦人科	

外来患者延数



キャンパス毎の敷地内地図



小白川キャンパス

人文社会科学部

地域教育文化学部

理学部

市内中心部はもちろん仙台とのアクセスも便利。全学部生1年次はここを拠点に学生生活を送ります。

飯田キャンパス

医学部

附属病院が同じ敷地内にあり、生活関連施設、研究設備ともに充実している医学部の拠点です。

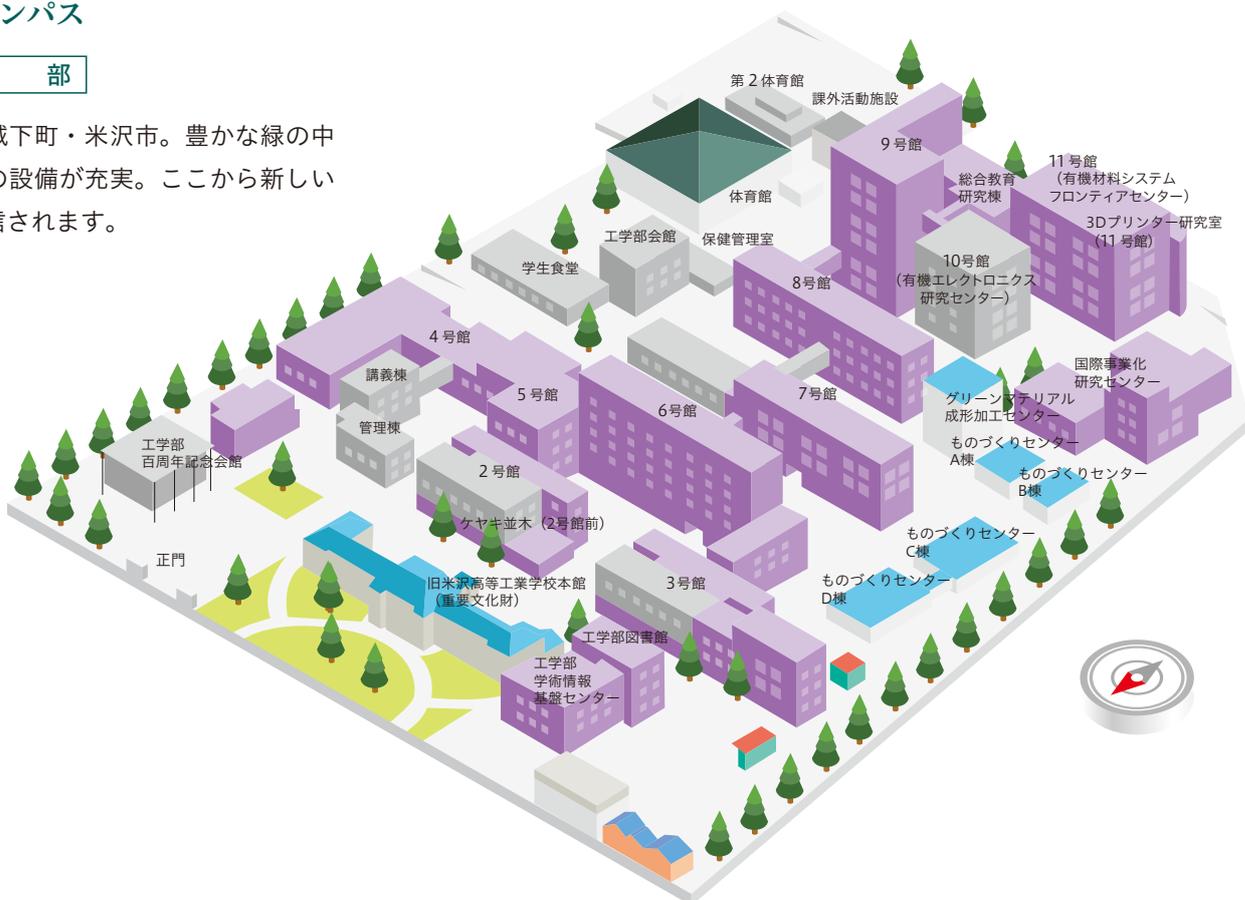


キャンパス毎の敷地内地図

米沢キャンパス

工 学 部

風情ある城下町・米沢市。豊かな緑の中に最先端の設備が充実。ここから新しい技術が発信されます。



鶴岡キャンパス

農 学 部

山形県の日本海側に位置する庄内・鶴岡市。豊かな自然に囲まれ、農学教育・研究に最適な環境です。



ファイナンシャルハイライト (2021事業年度)

(百万円)

貸借対照表	2022. 3 (R4. 3)	2021. 3 (R3. 3)	増減 (前年比)
資産	121,036	121,243	△ 207
負債	46,107	49,414	△ 3,307
純資産	74,929	71,829	3,099

損益計算書

費用	44,176	42,633	1,543
収益	46,192	43,771	2,420
運営費交付金収益	10,822	10,751	70
授業料等収益	5,017	5,004	12
附属病院収益	23,007	20,616	2,390
受託・寄附金等収益	2,927	3,202	△ 275
その他	4,418	4,196	221
当期総利益	2,015	1,137	877
(うち目的積立金)	(1,873)	(859)	(1,013)

キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッシュ・フロー	6,427	3,033	3,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,584	191	△ 7,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,137	△ 1,810	△ 326
資金期末残高	2,345	5,639	△ 3,293

国立大学法人等業務実施コスト計算書

国立大学法人等業務実施コスト	14,293	19,691	△ 5,397
----------------	--------	--------	---------

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

2021事業年度は、費用441億円に対し、収益は461億円となり、当期総利益は20億円となりました。

新型コロナウイルスの影響による病棟の閉鎖等で附属病院の赤字が見込まれましたが、手術件数がコロナ禍以前の水準まで戻ってきたことや診療単価が増加したこと等により、附属病院収益が23億円増加し、また、国からの交付金が減少基調にある中でも外部資金獲得の積極的な取組や経費節減等の経営努力により、総利益は8億円増加しました。

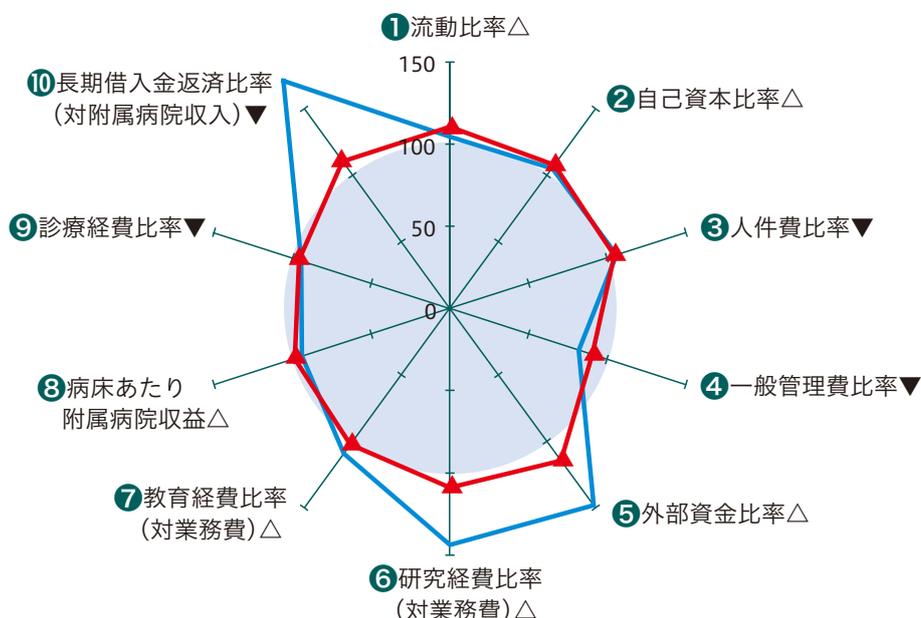
なお、目的積立金は文部科学省から承認され、2022年度以降の施設・環境整備事業等に充てられます。

今後も、教育・研究・診療に力を注ぎ、外部資金の獲得などによる自己収入の確保および一層の経費抑制に努め、健全な財務運営を行ってまいります。

財務指標（2021 事業年度）

山形大学の財務状況

主要な財務指標の同規模 24 大学の平均に対する割合



左のグラフは、同規模 24 大学の平均を100（水色の円）として、本学の状況を表示したものです。外側に表示されているほど、良好な状況であることを示しています。

△: 多い（高い）方が望ましい。
▼: 少ない（低い）方が望ましい。
— 2020 山形大学
—▲ 2021 山形大学

※⑩長期借入金返済比率が 2021 年度に比べ 2020 年度が大きく変化していますが、これは新型コロナウイルスの影響により、病院収入が減少したため借入金返済の猶予措置が行われたことによります。

① 流動比率 △ (健全性)

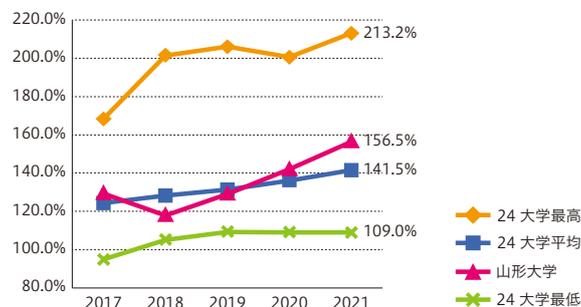
一年以内に償還又は支払うべき債務（流動負債）に対して、一年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度確保されているかを表します。

$$(\text{流動資産}) \div (\text{流動負債}) \times 100$$

24 大学中
8 位

流動資産 162 億円、流動負債 104 億円を計上した結果、流動比率は 156.5%となりました。有価証券増加および繰越分の未払金の減少により前年度に比べ比率が増加しています。

流動比率の推移



② 自己資本比率 △ (健全性)

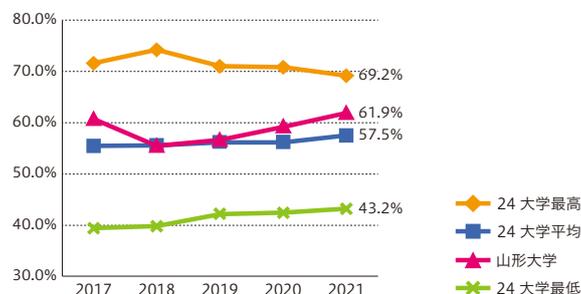
総資産に対して、返済義務のない自己資本（純資産）が占める割合を表します。借入等の負債の割合が多いほど数値は低くなります。

$$(\text{純資産}) \div (\text{資産※}) \times 100 \quad ※\text{資産} = \text{負債} + \text{純資産 (自己資本)}$$

24 大学中
6 位

総資産 1,210 億円、純資産 749 億円を計上した結果、自己資本比率は 61.9%となりました。資本剰余金増加により前年度に比べ比率が増加し、同規模大学の平均よりもやや高い数値となっています。

自己資本比率の推移



※同規模 24 大学とは、文部科学省の定める分類で、医学部を有する収容定員が一人未満の国立大学法人のことで、以下の大学になります。なお、東海国立大学機構が設置されたことに伴い、集計より岐阜大学を除いています。

弘前大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、三重大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

財務指標（2021 事業年度）

③ 人件費比率 ▼（効率性）

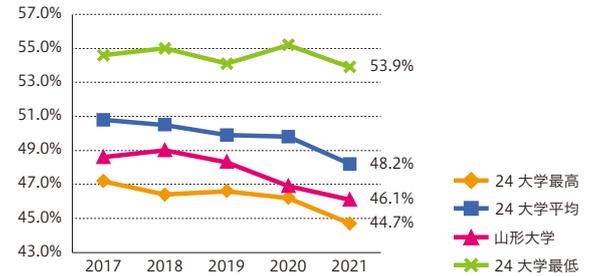
業務費に対する人件費の占める割合を表します。数値が低いほど、効率的に本業である教育研究へ投資していることを示します。

$$(\text{人件費}) \div (\text{業務費}) \times 100$$

24 大学中
6 位

職員数の増および新型コロナ関連手当等により人件費は増加しましたが、附属病院稼働率上昇により業務費（診療経費）が増加したため、前年度と比べ比率が 0.8% 減少しています。また、この比率は同規模大学の平均を下回っています。

人件費比率の推移



④ 一般管理費比率 ▼（効率性）

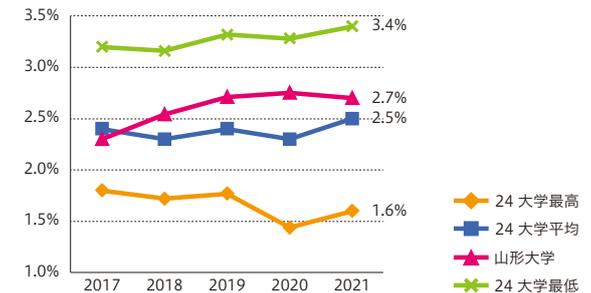
業務費に対する一般管理費の占める割合を表します。数値が低いほど、効率的に本業である教育研究へ投資していることを示します。

$$(\text{一般管理費}) \div (\text{業務費}) \times 100$$

24 大学中
17 位

一般管理費は前年度と比べ同程度の支出となっており、業務費の増加に伴い一般管理費比率は 2.7% となり、前年度に比べ 0.1% 減少していますが、同規模大学の平均と比べても高い数値となっていますので、今後も経費削減・効率化に努めていきます。

一般管理費比率の推移



⑤ 外部資金比率 △（活動性）

業務収益に対する外部資金収益（受託等収益、寄附金収益）の割合を表します。外部資金をより多く獲得し、活動を行うほど、数値は高くなります。

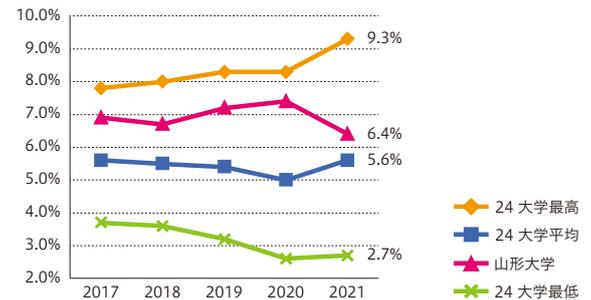
$$(\text{外部資金収益} \times) \div (\text{経常収益}) \times 100$$

※外部資金収益 = 受託研究収益 + 共同研究収益 + 受託事業収益 + 寄附金収益

24 大学中
7 位

前年度と比較し、主に寄附金の繰り越した予算の大型案件等の当期執行額の減少に伴い、収益としては減少しています。その結果、前年度に比べ 1.0% 減少していますが、依然として本学は同規模大学の平均よりも高い数値となっています。

外部資金比率の推移



⑥ 研究経費比率（対業務費）△（活動性）

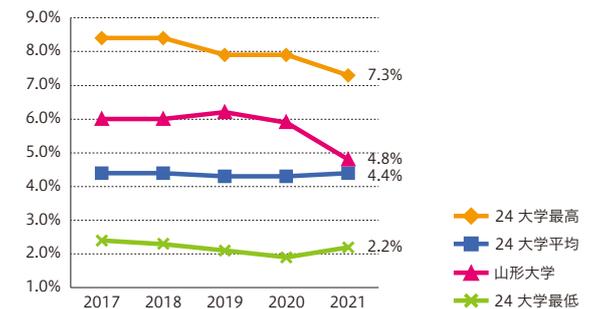
業務費に対する研究経費の占める割合を表します。本業である研究に投資しているかを示します。（人件費は含んでいません。）

$$(\text{研究経費}) \div (\text{業務費}) \times 100$$

24 大学中
6 位

学内の研究施設の修繕が前年度で完了し支出が減少したことに伴い研究経費比率は 4.8% となり、前年度に比べ 1.1% 減少していますが、依然として本学は同規模大学の平均よりも高い数値となっています。今後も活発な研究活動を行っていきます。

研究経費比率の推移



⑦ 教育経費比率（対業務費）△（活動性）

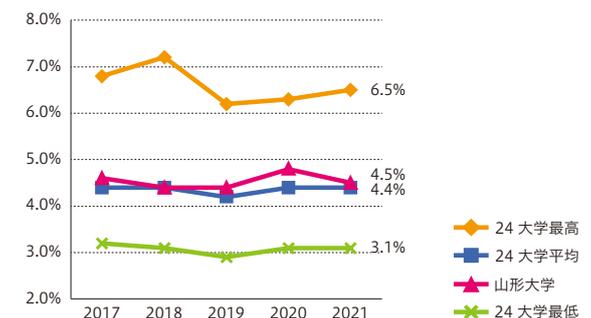
業務費に対する教育経費の占める割合を表します。本業である教育へいかに投資しているかを示します。（人件費は含んでいません。）

$$(\text{教育経費}) \div (\text{業務費}) \times 100$$

24 大学中
10 位

教育経費は前年度と比べ同程度の支出となっており、業務費の増加に伴い一般管理費比率は 4.5% となり、前年度に比べ 0.3% 減少しています。同規模大学の平均的な数値となっており、今後も効率化に努めながら、質の高い教育を行っていきます。

教育経費比率の推移



財務指標（2021 事業年度）

⑧ 病床あたり附属病院収益 △（収益性）

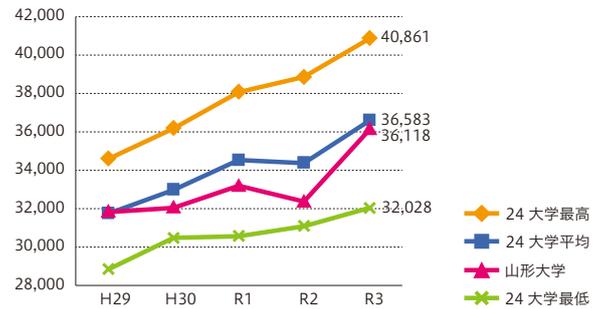
1 病床あたりの附属病院収益を表します。この数値が高いほど、より効率的に病院収益を上げていることを示します。

（附属病院収益）÷（病床数）※山形大学医学部附属病院病床数…637 床

24 大学中
15 位

附属病院収益は手術件数などコロナ禍前の水準まで戻り診療単価の増により、前年度と比べ約 18 億円増加しました。そのため、前年度比で 1 床あたり 3,753 円増収となりました。

病床あたり附属病院収益の推移



⑨ 診療経費比率 ▼（収益性）

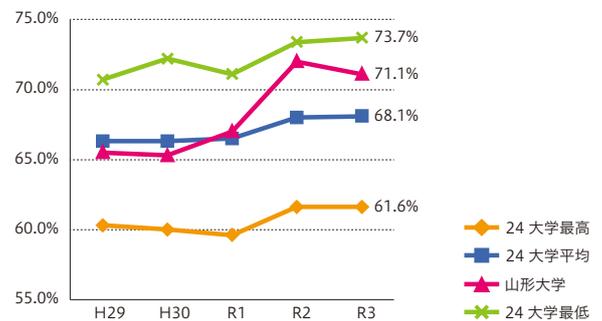
附属病院収益に対する診療経費の割合です。この数値が低いほど、より低コストで収益をあげていることを示します。

（診療経費）÷（附属病院収益）× 100

24 大学中
20 位

新型コロナ関連の補助金による医療機器整備および手術件数増により診療経費が増加しましたが、上記⑧に記載したとおり附属病院収益が増加したに伴い、診療経費比率は 71.1% となり、前年度に比べ 0.9% 減少しています。同規模大学の平均よりも高い数値となっています。

診療経費比率の推移



⑩ 長期借入金返済比率（対附属病院収入） ▼（健全性）

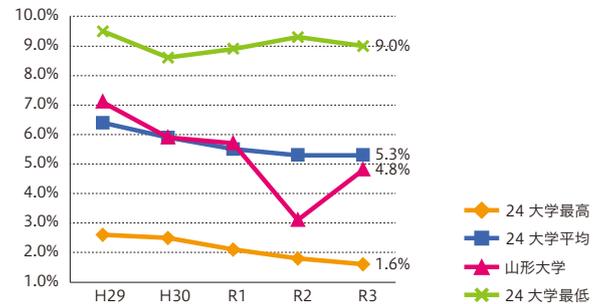
病院収入に対する借入金の返済率で、この数値が低いほど、債務償還の影響が低い健全な経営が行われていることを示します。

（借入返済）÷（附属病院収入）× 100

24 大学中
11 位

前年度は新型コロナウイルスの影響から病院収入減による借入金返済の猶予措置が行われていたため、今年度は比率としては大きく増加していますが同規模大学の平均よりも低い数値となっています。今後も続く債務償還に対し、引き続き健全な病院経営に努めていきます。

長期借入金返済比率の推移



健全性の指標

①流動比率 ②自己資本比率 ⑩長期借入金返済比率

健全性については、同規模大学よりやや高い数値となりました。新型コロナウイルスの影響を大きく受けた前年度よりも病院収入が増加していますが、今後も続く附属病院の債務償還にあたり、引き続き健全な病院経営に努めていきます。

活動性の指標

⑤外部資金比率 ⑥研究経費比率 ⑦教育経費比率

活動性については、いずれの比率も同規模大学の平均以上の数値となりました。運営費交付金が年々減少していく中、引き続き外部資金の獲得を図り、教育・研究・診療分野の拡大・進展に努めていきます。

効率性の指標

③人件費比率 ④一般管理費比率

効率性については、人件費比率が同規模大学の平均よりも低く、一般管理費比率については平均より高くなっています。今後も引き続き管理的経費の抑制等への取り組みに努めていきます。

収益性の指標

⑧病床あたり附属病院収益 ⑨診療経費比率

収益性については、新型コロナウイルスの影響などにより厳しい状況が続いております。今後も続いていく附属病院の債務償還にあたり、より一層の改善に努めていきます。

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

現在、開示すべきセグメント情報については、財務諸表附属明細書において「国立大学法人会計基準」に従い、大学、東日本重粒子センター、附属学校、附属病院および法人共通の5区分で公表しています。

本学の会計マネジメント改革を推進するため、「学外への見える化」の取り組みとして、セグメント情報の開示を拡大することを検討し、学部・研究科等を加えたセグメント情報を公表いたします。

（単位：百万円）

区分	人文社会科学部 社会文化創造研究科	地域教育文化学部 社会文化創造研究科 教育実践研究科	理学部 理工学研究科（理）	医学部 医学系研究科	工学部 理工学研究科（工） 有機材料システム研究科
〈業務費用〉					
業務費	1,087	1,021	1,256	2,646	6,105
教育経費	152	119	139	210	511
研究経費	81	58	148	538	950
診療経費	—	—	—	—	—
教育研究支援経費	1	0	—	51	35
受託研究費	1	3	52	45	980
共同研究費	—	1	14	33	595
受託事業費等	3	0	31	55	176
人件費	847	837	869	1,712	2,855
一般管理費	17	16	30	196	140
財務費用	0	—	—	0	1
雑損	—	0	—	0	23
小計	1,105	1,037	1,287	2,844	6,270
〈業務収益〉					
運営費交付金収益	643	565	622	1,126	1,837
学生納付金収益	801	493	618	610	2,056
附属病院収益	—	—	—	—	—
受託研究収益	1	3	64	51	1,055
共同研究収益	—	1	19	40	645
受託事業等収益	5	0	32	58	181
寄附金収益	3	7	14	216	84
施設費収益	—	—	—	50	7
補助金等収益	—	—	0	31	334
資産見返負債戻入	7	29	52	147	453
財務収益	—	—	—	—	—
雑益	24	14	46	93	195
小計	1,487	1,115	1,470	2,428	6,852
業務損益	381	77	183	△416	581
〈帰属資産〉					
土地	1,468	2,727	2,579	5,555	3,585
建物	1,069	1,382	1,380	5,039	11,796
構築物	13	9	34	243	623
その他	34	27	201	1,811	2,935
帰属資産	2,586	4,147	4,195	12,649	18,941

※百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

（単位：百万円）

区分	農学部 農学研究科	法人本部等	東日本 重粒子センター	附属学校	附属病院	合計
〈業務費用〉						
業務費	1,359	2,957	1,053	909	24,479	42,875
教育経費	231	393	—	146	21	1,928
研究経費	134	40	79	0	20	2,052
診療経費	—	—	873	—	15,488	16,361
教育研究支援経費	10	346	—	—	—	445
受託研究費	31	2	—	—	130	1,246
共同研究費	8	—	3	—	0	656
受託事業費等	81	27	—	—	26	403
人件費	861	2,146	97	761	8,791	19,781
一般管理費	61	530	1	0	151	1,148
財務費用	—	7	2	0	85	96
雑損	—	0	—	0	0	24
小計	1,421	3,495	1,057	910	24,716	44,144
〈業務収益〉						
運営費交付金収益	649	2,225	61	832	2,257	10,822
学生納付金収益	429	0	—	7	—	5,017
附属病院収益	—	—	564	—	22,442	23,007
受託研究収益	36	5	—	—	175	1,393
共同研究収益	10	—	4	—	0	721
受託事業等収益	82	29	—	—	27	418
寄附金収益	27	23	0	10	4	393
施設費収益	40	6	—	0	3	108
補助金等収益	18	359	—	7	1,277	2,029
資産見返負債戻入	52	44	101	24	88	1,002
財務収益	—	9	—	—	—	9
雑益	79	317	32	4	90	900
小計	1,427	3,022	764	887	26,368	45,823
業務損益	6	△ 473	△ 292	△ 22	1,652	1,678
〈帰属資産〉						
土地	2,307	9,124	—	4,796	5,637	37,781
建物	1,264	2,258	5,779	1,920	9,709	41,600
構築物	158	571	73	66	763	2,557
その他	599	15,985	9,617	29	7,855	39,097
帰属資産	4,330	27,939	15,470	6,812	23,964	121,036

※百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

※法人本部等には学士課程基盤教育機構、保健管理センター、小白川キャンパス事務部、図書館、学術情報センター、法人共通（現金等）を含む

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

人文社会科学部・社会文化創造研究科

業務費用 (百万円)	
業務費	1,087
教育経費	152
研究経費	81
教育研究支援経費	1
受託研究費	1
受託事業費等	3
人件費	847
一般管理費	17
小計	1,105

業務収益 (百万円)	
運営費交付金収益	643
学生納付金収益	801
受託研究収益	1
受託事業等収益	5
寄附金収益	3
その他の業務収益	31
小計	1,487

業務損益	
	381

※百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。以下、同様

■山形大学人文社会科学部の研究グループは、小学校の保護者と山形大生を対象にした安心・安全意識に関するアンケート調査の結果をまとめました。この調査により、災害への備え不足や頼れる人の少なさ、精神的な悩みに関する相談機関を結びつける手段の不足、避難地区や避難場所の認知度の浸透具合、大学生の自転車運転への不安が浮き彫りになりました。

人文社会科学部では、認知科学、地理学、社会学、情報科学、行動科学、臨床心理学の研究者が連携し研究プロジェクトを推進してきました。安全安心な社会の実現につながる価値創造を目指し、本研究拠点は今後も自治体、大学と連携を進めていきます。

■分野融合・連携を核とした教育研究の実践に向けて、2017年度に行った学部改組と連動した大学院の教育体制を新たに構築するとともに、多様化、複雑化する現代社会の抱える課題に対応できる人材育成を実現するため、2021年4月に大学院修士課程及び博士前期課程の改組を行い社会文化創造研究科を設置しました。(従来の社会文化システム研究科と地域教育文化研究科を統合再編) 他分野教員を含む複数の指導教員による充実した研究指導を行い広く社会で活躍できるよう俯瞰的視野・複眼的視野育成を目指した体系的なカリキュラムを編成しています。



地域教育文化学部・社会文化創造研究科・教育実践研究科

業務費用 (百万円)	
業務費	1,021
教育経費	119
研究経費	58
受託研究費	3
共同研究費	1
人件費	837
一般管理費	16
小計	1,037

業務収益 (百万円)	
運営費交付金収益	565
学生納付金収益	493
受託研究収益	3
共同研究収益	1
寄附金収益	7
その他の業務収益	43
小計	1,115

業務損益	
	77

■山形大学と山形県教育センターおよび山形市総合学習センターが協力して、小学校理科の授業を実施するために必要な資質・能力を身に付けることを応援するため、新たに「理科マイスター」という独自資格を認定する教育プログラムを実施しています。本事業の実施により、県内小学校教員の理科に関する資質・能力の向上に寄与できるとともに、山形大学が理科に強い小学校教員の養成する大学となることが期待されます。

■教職志願者数の減少という喫緊の課題に、「教職の魅力創造プロジェクト」として、大学、教育委員会、地域が一体となって取り組むプロジェクトを実施しています。全国に先駆けた取り組みとして、文部科学省の委託事業「2020年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」に「教職の魅力向上に関する取組」の中で第一位の評価で採択されました。

2021年度は「第4回学びのフォーラム」を開催しました。学びのフォーラムは、高校生、大学生、社会人が対等な立場で、「学ぶとはどういうことか」に関する答えを共に探究する合同ゼミナールです。今年度は、3回の開催で合計150人（高校生75人、大学生20人、社会人55人）の方に参加いただきました。

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

理学部・理工学研究科（理）

業務費用		(百万円)
業務費	1,256	
教育経費	139	
研究経費	148	
受託研究費	52	
共同研究費	14	
受託事業費等	31	
人件費	869	
一般管理費	30	
小計	1,287	
業務収益		(百万円)
運営費交付金収益	622	
学生納付金収益	618	
受託研究収益	64	
共同研究収益	19	
受託事業等収益	32	
寄附金収益	14	
その他の業務収益	98	
小計	1,470	
業務損益	183	

■山形県上市市と連携し、果実の収穫適期情報等を提供するシステムを開発しました。生産者数が減少し、西洋ナシの収穫適期判断に課題がある産地において、各生産者が、計測した果実データをアップロードし、その場でグラフ化・共有できるアプリ機能を作成し、効率的な情報収集との収穫適期の判断に活用いただきました。このほか、大学の知見を活かし、次世代の生産者育成も視野に入れた活動を展開するとともに、西洋ナシのブランド価値を高めるために、上市市の企業と共同で西洋ナシ追熟用のかごを新たに開発しています。

■社会との連携に関する取り組みでは、理学部が中心となって地域教育文化学部や山形県教育委員会と連携・協力した「ヤマガタSTEMアカデミー」を実施しました。本プログラムは持続可能でよりよい社会（SDGs）を目指すために必要な科学技術（STEM）を理解し、人類の未来に役立つ産業を生み出す、想像力豊かな理系人材を育成する教育プログラムとなっています。なお、ヤマガタSTEMアカデミーは国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による「ジュニアドクター育成塾」事業に採択されました。

医学部・医学系研究科

業務費用		(百万円)
業務費	2,646	
教育経費	210	
研究経費	538	
教育研究支援経費	51	
受託研究費	45	
共同研究費	33	
受託事業費等	55	
人件費	1,712	
一般管理費	196	
小計	2,844	
業務収益		(百万円)
運営費交付金収益	1,126	
学生納付金収益	610	
受託研究収益	51	
共同研究収益	40	
受託事業等収益	58	
寄附金収益	216	
施設費収益	50	
補助金等収益	31	
その他の業務収益	240	
小計	2,428	
業務損益	▲416	

■2020年度末に山形県と山形大医学部は、県民の肝がんの罹患（りかん）率と死亡率が全国で最も低くなったことを公表しました。2021年度はさらなる県民の健康促進のため、山形県から委託を受けて「健康長寿日本一」の実現に向けた山形県がん克服事業を推進し、山形県健診受診者において、喫煙、飲酒、歩行時間、野菜摂取、塩分摂取が、がん発症のリスクを上昇させる可能性を明らかにしました。さらに、その結果は今後、広く山形県民に周知されることとなり、中長期的には健康寿命の延伸に寄与することとなりました。

■地域医療臨床実習の充実を図るため第112回山形県広域連携臨床実習運営会議を開催し、地域医療機関での実習の実施状況、感染症下における継続可能な臨床実習の在り方、今後の臨床実習学生の受け入れ数およびスケジュール等について協議を行いました。広域連携臨床実習の連携先は現在14施設ですが、今後の実習に向けて、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実習病院等の拡充等について検討していく予定です。また、臨床研修医のマッチング数は24人で、東北7大学で最も多く確保することができました。

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

工学部・理工学研究科（工）・有機材料システム研究科

業務費用 (百万円)	
業務費	6,105
教育経費	511
研究経費	950
教育研究支援経費	35
受託研究費	980
共同研究費	595
受託事業費等	176
人件費	2,855
一般管理費	140
その他の業務費用	24
小計	6,270
業務収益 (百万円)	
運営費交付金収益	1,837
学生納付金収益	2,056
受託研究収益	1,055
共同研究収益	645
受託事業等収益	181
寄附金収益	84
施設費収益	7
補助金等収益	334
その他の業務収益	648
小計	6,852
業務損益	
	581

■材料とその基礎や応用に関する研究に取り組んでいる山形大学の博士後期課程の学生を企業が支援するコンソーシアム『マテリアル人材コンソーシアム』を設立しました。山形大学は文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創出事業」に採択され、2021年度から、「山形大学ソフトマターイノベーション博士人材育成プログラム」を実施しています。本コンソーシアムは、このフェローシップ創出事業と連携し、博士後期課程の学生教育を実施するものです。山形大学の教員と材料科学とその応用に関する事業を展開する企業の研究者・技術者が連携して、学生の研究やキャリアパスを指導するほか、企業から生活費・研究費などの一部を支援していただきます。コンソーシアム企業に対しては、山形大学が最先端の材料科学に関するセミナーなどを実施し、研究者・技術者の学びなおし、いわゆる「リカレント教育」に貢献し、企業の研究活動の活性化のサポートをします。

■有機材料研究においては、文部科学省・革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)「フロンティア有機システムイノベーション拠点」に関して、医学部と工学部の連携による医療用フェイスシールド付き高演色LEDヘッドランプを開発(本ヘッドランプでは非常に高い色再現性を有するLEDを使用するとともに、医師の感染対策のためのフェイスシールドも装備している)および山形県において、農業の付加価値産業への転換を図るため落花生の作付を開始(2021年度には3.2haまで拡大)による農業者の収益増加等、社会および地域ニーズに応える先進的な研究を推進し、社会実装とした製品やサービスを実現した結果、COIプログラムの事後評価において、最高となる「Sランク」の評価を得ました。

農学部・農学研究科

業務費用 (百万円)	
業務費	1,359
教育経費	231
研究経費	134
教育研究支援経費	10
受託研究費	31
共同研究費	8
受託事業費等	81
人件費	861
一般管理費	61
小計	1,421
業務収益 (百万円)	
運営費交付金収益	649
学生納付金収益	429
受託研究収益	36
共同研究収益	10
受託事業等収益	82
寄附金収益	27
施設費収益	40
補助金等収益	18
その他の業務収益	131
小計	1,427
業務損益	
	6

■農学部と山形県鮭川村で包括的連携協定を締結しました。農業・畜産分野でAI、IoT、ロボットなど本学部が研究を進めるデジタル技術を活用し、農業における労働人口減少を補うための省力化技術の開発や、選別作業のデジタル化など、DX(デジタルトランスフォーメーション)へ向けた新たな技術開発および人材の育成に取り組む、お互いが有する「モノ」「知」「技術」「ヒト」「ネットワーク」を集結し、地域を担うデジタル対応の次世代人材の育成と、豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目指します。

■農学部とベナン共和国とのパートナーシップに関する協定を締結しました。この協定では、ベナンの農業振興に向けた人材育成および相互交流による本学部の国際交流の活性化を目的としており、今後、同大使館のコーディネイトにより本学部とベナンの大学と学術交流協定を締結し、ベナンからの研究者や指導者の受け入れおよび本学部の教員派遣による現地指導など行います。

この協定の締結により、本学部とベナン共和国大使館との協力関係が一層強固なものとなり、交流進展によるさらなる国際化が期待されます。

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

医学部附属病院

業務費用	
(百万円)	
業務費	24,479
教育経費	21
研究経費	20
診療経費	15,488
受託研究費	130
受託事業費等	26
人件費	8,791
一般管理費	151
その他の業務費用	85
小計	24,716

業務収益	
(百万円)	
運営費交付金収益	2,257
附属病院収益	22,442
受託研究収益	175
受託事業等収益	27
寄附金収益	4
施設費収益	3
補助金等収益	1,277
その他の業務収益	178
小計	26,368

業務損益	
	1,652



■ 大学病院のミッションとして、山形大学医学部附属病院は、山形県の医療の最後の砦として、県内で最も進んだ医療機器を導入し先進医療を提供すること、山形県内における唯一の特定機能病院、地域がん診療連携拠点病院および2019年度より指定を受けたがんゲノム医療拠点病院として高度な医療を提供することで、地域医療の中核的役割を担っています。

■ 地域の医療機関の連携による周産期医療提供体制強化の取組として、山形県産科セミオープンシステムは置賜・最上地区でもそれぞれ実施されるようになり、医療機関同士の連携が進んでいます。セミオープンシステムの適応とならない症例についても妊娠期間を通じて他地域の病院・医院と連携して管理する例がいくつかあり、県内の周産期医療施設間の連携は強化されています。

また、外来受診患者のうち、新型コロナウイルスへの感染が疑われる患者については救急部において積極的にスクリーニング検査を行い、感染拡大により他の医療機関での対応が困難となった患者を積極的に受け入れてきました。

■ 本院では、新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大してからも、難易度の高い手術を可能な限り実施し、重い病気の患者さんの治療を積極的に行っています。また、がん治療に代表される高度先進医療も、新型コロナウイルスの感染が拡大する前と同じように積極的に実施しており、特定機能病院として重い病気の患者さんを守るという役割を果たし続けています。また、山形県からの要請を受けて、新型コロナウイルスに感染した患者さんを収容するための病床を27床確保しました。本院は、山形県や県内の感染症指定病院と連携しながら、新型コロナウイルスに感染した患者さんの中でも、特に症状が重く、大学病院での治療を求められる患者さんに対応する役割を担っています。今年度は新型コロナウイルス対策として措置された国立大学施設整備費補助金によって多用途型トリアージスペースが整備され、より一層山形県の新型コロナウイルス対策が期待されます。

新型コロナウイルスに関する積極的な情報公開を行っており、病院職員、医学部学生に対し新型コロナウイルスワクチン接種後にインターネットを用いた調査を行い、集計結果をHP等で公表しました。その後、マスクミ等で取り上げていただき、県民の皆様へ広く情報提供を進めることができました。

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

東日本重粒子センター

業務費用 (百万円)	
業務費	1,053
研究経費	79
診療経費	873
共同研究費	3
人件費	97
一般管理費	1
その他の業務費用	2
小計	1,057

業務収益 (百万円)	
運営費交付金収益	61
附属病院収益	564
共同研究収益	4
その他の業務収益	133
小計	764

業務損益	▲ 292
------	-------

■令和3年2月東日本重粒子センターにおける最初の患者への重粒子線照射が実施されました。平成16年に計画が開始されて以来、約17年を経た長い道のりでしたが、今後は東北・北海道地域唯一の重粒子線治療施設として、地域のがん医療にとって極めて大きな役割を担うこととなります。

重粒子線治療は炭素の原子核を粒子加速器で超高速に加速して身体の外部から腫瘍に向けて照射し、がん細胞を死滅させる放射線治療です。長所としては、①線量集中性が良いことおよび②がん細胞殺傷効果が高いことの2点が挙げられます。①は副作用の軽減につながり、②は照射回数の減少や放射線抵抗性腫瘍への有効性につながるため、理想的な根治的治療を提供できます。約25年前に千葉市の放射線医学総合研究所（当時）で世界に先駆けて本格的な臨床応用が開始されて以来さまざまながん疾患に応用され、骨軟部腫瘍の一部、頭頸部腫瘍の一部、前立腺がんについては令和3年度以前から公的保険が適用になっていました。令和4年4月からは、肝臓がん、すい臓がん、子宮頸部腺がんおよび大腸がん（術後再発）の治療も公的保険が適用になり、標準治療として一般的になりつつあります。

しかしながら、食道がん、肺がん、腎臓がんなど未だ公的保険が適用されていないがん疾患については高額な自己負担を伴う先進医療の枠組みでの治療となり、患者の経済的負担軽減のためにもこれらの疾患も早期の公的保険適用が望まれています。そのためには他の治療法との比較において優位性（または非劣性）を示す必要があり、臨床試験データの蓄積も当センターの大きな役割です。

前立腺がんの治療については、照射治療に先立って数ヶ月のホルモン療法を実施することから、令和2年8月から院内の患者の募集を開始し、11月からは院外の患者の募集も開始しました。保険診療を開始する前に10人以上の患者への照射を実施するため、令和2年度に治療した照射12例は全て保険診療前の照射とし、保険診療は令和3年4月からの開始となりました。前立腺がんの令和3年度重粒子線治療実績は予定を大幅に超え、353人となっています。

また、前立腺以外のがん疾患を治療する回転ガントリー照射室もビームの調整が終了し、令和4年5月からは頭頸部腫瘍、7月からは骨軟部腫瘍および大腸がん（術後再発）の治療を開始いたしました。さらに、9月からは、肝臓がん、すい臓がん、食道がん、肺がん、腎臓がん、子宮頸がんおよび転移性腫瘍について、順次治療開始していくことにしており、これで予定していたすべての疾患の治療が開始することになります。なお、公的保険が適用されない疾患については、10症例以上の照射治療を実施後に東北厚生局に届出し、受理された後は先進医療として実施することとしています。

9月末現在、累計で547名の治療が終了しており、令和5年度には420名/年の、令和6年度には当初計画の600名/年の治療を実施することを目標とし、毎年度、治療件数を増やしていくことにしています。



①回転ガントリー照射室



②固定照射室



③加速器室

学部・研究科等別決算情報（2021事業年度）

附属学校

業務費用 (百万円)	
業務費	909
教育経費	146
人件費	761
小計	910
業務収益 (百万円)	
運営費交付金収益	832
学生納付金収益	7
寄附金収益	10
補助金等収益	7
その他の業務収益	28
小計	887
業務損益	▲ 22

■ 幼稚園、小学校、中学校および特別支援学校間の連携を強化し、円滑な接続と相互交流による一貫性の高い教育に資するため、附属学校園の連携を深めています。将来構想の中で課題になっている幼小中一貫した教育を進めるうえでの連携の在り方や特別支援学校との交流・共同学習の在り方について研究を進めました。

附属学校における共同研究については、2021年度は、大学教員も交えて16の部会、延べ158名の会員で取組みを開始し、教育フォーラム、学習指導研究協議会、授業づくり研修会や科学研究費補助金申請に関する研究協議がなされました。さらに、新たに教科横断的なテーマ「ICT活用教育」「インクルーシブ教育」「英語教育」「SDGsを踏まえた教育」を目標とする部会を追加し、2022年度からスタートする体制を整備しました。

■ GIGAスクールの推進においては、電子黒板の追加整備に加え、昨年度に引き続き2021年度もGIGAスクールサポーターを配置し、「どの児童生徒もタブレット端末を活用できるようにすること」「教員のICT活用能力をそろえること」を目的に、小学校・中学校・特別支援学校の授業でのICT活用支援を行い、教員の意識の向上や児童生徒の資質・能力の向上を図ることができました。来年度も引き続き、ICTを活用した探究的な学びを目指した授業実践の取組みを行っていきます。

保健管理センター、図書館、学術情報センター、法人本部等

業務費用 (百万円)	
業務費	2,957
教育経費	393
研究経費	40
教育研究支援経費	346
受託研究費	2
受託事業費等	27
人件費	2,146
一般管理費	530
その他の業務費用	7
小計	3,495
業務収益 (百万円)	
運営費交付金収益	2,225
受託研究収益	5
受託事業等収益	29
寄附金収益	23
施設費収益	6
補助金等収益	359
その他の業務収益	370
小計	3,022
業務損益	▲ 473

■ 本学小白川キャンパスが有する施設の有効利用を念頭に、「健康」をキーワードとして体の健康だけでなく、心の健康や豊かさも含めた市民サービスを構築するために、「健康と学びのサポートセンター」を2021年6月に設立しました。センターでは、2021年度に改修した全天候型の陸上トラックを備えたグラウンドをはじめ、大学として実施可能なさまざまなサービスを統合し、参加する市民のニーズに合わせて複数のコンテンツを組み合わせて提供することを目指します。

■ 山形大学におけるDXを推進するとともに、地域における“知の拠点”として、情報資源の活用を推進することを目的とした「山形大学デジタルトランスフォーメーション推進機構」が設置されました。DXにより山形大学が目指す将来像や教育・研究機能の強化、業務の効率化などの観点から、『教育』『研究』『業務運営』『人材育成』の4つの領域で全学的なロードマップを策定し、それぞれのDX推進に向けて動き出しています。

■ 新型コロナ禍における学生への経済的支援について、山形大学独自支援として、入学金や授業料の納付が困難になった学生への修学支援事業学生支援奨学金やオンライン授業を受講するためのWi-Fi環境が十分でない学生への各キャンパスの一部教室を十分な感染症対策の上で限定開放、山形大学学生生活支援給付金等を実施しました。